

履 歴 書

氏名 西村 和雄

学 歴

昭和 41 年 4 月 東京大学教養学部教養学科理科 II 類入学
昭和 43 年 4 月 東京大学農学部農業経済学科進学
昭和 45 年 4 月 東京大学大学院農学系研究科修士課程農業経済学専攻入学
昭和 47 年 4 月 東京大学大学院農学系研究科博士課程農業経済学専攻進学
昭和 48 年 9 月 米国ロチェスター大学大学院経済学研究科博士課程入学
昭和 51 年 8 月 同大学院博士課程修了
昭和 52 年 6 月 Ph.D. ロチェスター大学より博士論文 "On the Problems of Uniqueness"
(指導教官 Lionel McKenzie 教授)

職 歴

昭和 51 年 9 月 ダルハウジー大学経済学部助教授
昭和 52 年 10 月 東京都立大学経済学部講師
昭和 53 年 4 月 同 助教授
昭和 62 年 4 月 京都大学経済研究所教授
平成 18 年 4 月 京都大学経済研究所所長
平成 22 年 4 月～ 京都大学名誉教授
平成 22 年 4 月～ 京都大学経済研究所特任教授
平成 22 年 4 月～24 年 3 月 京都大学学際融合教育研究推進センター統合複雑系科学国際研究ユニット代表
平成 25 年 4 月～神戸大学社会科学系教育研究府特命教授
平成 28 年 4 月～神戸大学社会システムイノベーションセンター特命教授
令和元年 4 月～ 神戸大学計算社会科学研究所センター特命教授

客 員

昭和 54 年 9 月 ニューヨーク州立大学経済学部客員助教授
昭和 55 年 9 月 南カリフォルニア大学経済学部客員助教授
昭和 58 年 9 月 同 客員准教授
平成 2 年 2 月～2 年 5 月 オーストラリア国立大学経済学部客員研究員
平成 8 年 5 月 コーネル大学客員研究員
平成 9 年 5 月 ウィーン大学客員研究員
平成 12 年 9 月～13 年 8 月 パリ大学客員教授
平成 12 年 9 月～13 年 8 月 マルセイユ大学客員教授
平成 16 年 7 月～令和 4 年 12 月 Institute for Complex Adaptive matter,
Board of Governors
平成 20 年 4 月～21 年 3 月 東京大学経済国際共同研究センター客員教授
平成 20 年 7 月～29 年 6 月 Santa Fe Institute, External Professor
平成 22 年 4 月～23 年 3 月 立命館大学経済学部客員教授
平成 22 年 11 月～ 独立行政法人経済産業研究所ファカルティフェロー
平成 23 年 4 月～24 年 3 月 同志社大学経済学部客員教授
平成 27 年 9 月～ International Engineering and Technology Institute,
Distinguished Fellow

受 賞

2020年7月, Fellow, Society for the Advancement of Economic Theory
令和元年11月 瑞宝重光章

2016年10月 *Best Presentation Award*: "Science Subjects Studied and Relation to Income after University Graduation: An Empirical Analysis in Japan," *18th International Conference on Educational and Instructional Technology*,

2015年5月, International Engineering and Technology Institute, Distinguished Fellow

2012年2月 *Lifescience Global Editor's Choice*, "Mathematics & Science Education and Income: An Empirical Study in Japan" (with Junichi H., Junko U. and Tadashi Y.) , *Journal of Reviews on Global Economics*,

1992年11月 Fellow of the Econometric Society The Econometric Society

平成24年12月 学士院会員

平成24年11月 紫綬褒章

平成22年11月 京都新聞大賞「文化学術賞」

平成20年11月 第51回日経・経済図書文化賞 『マクロ経済動学』

平成19年11月 エックスマルセーユ第II大学名誉博士号

平成17年3月 日本数学会第1回出版賞 『分数ができない大学生』

昭和51年4月 Peter Conivear 賞

(ロチェスター大学経済学部大学院のセカンドイヤー論文による)

昭和50年5月 Norman M.Kapaln 賞

(ロチェスター大学経済学部大学院の2年次までの成績による)

専門: 複雑系経済学

出版された西村和雄記念号および西村和雄論文集

Business cycles and indeterminacy in economic models: a special issue in Honor of Professor Kazuo Nishimura, Edited by Ippei Fujiwara and Makoto Yano, *Studies in Nonlinear Dynamics & Econometrics* 23, Issue 4, 2019 De Gruyter

Nonlinear Dynamics in Equilibrium Models-Chaos, Cycles and Indeterminacy:

Selected Papers by Kazuo Nishimura, Edited by John Stachurski,, Alain Venditti, and Makoto Yano, Springer 2012

Special Issue in Honor of Kazuo Nishimura: Nonlinear Dynamics in Equilibrium Models, Edited by John Stachurski, Alain Venditti and Makot Yano, *Macroeconomic Dynamics*16, Issue S1, April, 2012 Cambridge University Press

Symposium in Honor of Kazuo Nishimura, Edited by Jess Benhabib and Tapan Mitra, *Journal of*

Difference Equations and Applications 13, 2007, Taylor & Francis

過去に論文を発表した研究分野: 経済成長・一般均衡理論・国際経済学・人口成長論・ゲーム理論・カオス理論

過去の授業担当科目: 経済原論・ミクロ経済学・マクロ経済学・国際経済学・数理経済学・経済発展論・統計学・経済数学・数理計画法・エンジニアの為の経済理論(南カリフォルニア大学工学部)

所属学会・機関及び活動

2020～ Fellow of the Society for the Advancement of Economic Theory, Fellow

2015～ Distinguished Fellow of the International Engineering and Technology Institute,

1992 ～ Fellow of the Econometric Society

Econometric Society

1994 ～ 2000 Council Member the Econometric Society

1992 ～ Fellow of the Econometric Society

1988 ～ 2000 Far Eastern Meeting of the Econometric Society, Standing Committee Member

1994 ～ 1995 The World Congress in Tokyo, Local Organizing Committee Member

1999 年度 Far Eastern Meeting of the Econometric Society, プログラム委員

1997 年度 Far Eastern Meeting of the Econometric Society, プログラム委員

1993 年度 Far Eastern Meeting of the Econometric Society, プログラム委員

1989 年度 Far Eastern Meeting of the Econometric Society, プログラム委員長

1987 年度 Far Eastern Meeting of the Econometric Society, プログラム委員

日本経済学会(理論計量経済学会)

2000 ～ 2001 日本経済学会 会長

1999 ～ 2000 日本経済学会 副会長

1998 ～ 2000 学会機関誌 The Japanese Economic Review 編集長

1994 ～ 1998 理論計量経済学会常任理事

1989 ～ 1992 理論計量経済学会常任理事

1987 ～ 1989 理論計量経済学会理事

日本経済学教育協会(経済学検定試験実施)

2002～会長

国際教育学会

2006～会長

東京経済研究センター

1988 ～ 1992 TCER 理事(研究会担当)

1981 ～ 1983 TCER 理事(研究会担当)

社会的活動:

2017.4～ 大阪市教育委員会顧問

2013.4～2017.3 大阪市教育委員会委員

2013～ 総合診断医療研究会名誉顧問
 2012. 4～2013.3 大阪市教育振興基本計画策定有識者会議座長
 2012～ 高等教育国際基準協会 名誉顧問
 2010～2014 日本機械工業連合会・理数系グローバル人材育成・教育に関する調査専門部会
 座長
 2010. 4 ～2018. 3 法科大学院全国統一適性試験管理委員会 委員
 2010. 4 ～2012. 3 京都大学・京都府教育委員会連携委員会 委員長
 2009. 4 ～ 日本経済国際共同研究センター 顧問
 2006 ～2010 NPO Sustainable Fellowship International 理事長
 2005 ～ NPO これからの教育を考える会 理事
 2004. 4～2019. 3 公認会計士・監査審査会、公認会計士試験実施検討小委員会委員
 2003. 4～2010. 3 法科大学院適性試験委員会委員
 2003. 4～2010. 3 財団法人 二十一世紀文化学術財団 評議員

学術誌編集

Taiwan Journal of Applied Economics, a member of the Honorary International Editorial Advisory Board, since 2017

Neuroscience Communications, Smart Science & Technology, Member of Editorial Board 2015-

International Journal of Economic Theory, Basil Blackwell, Managing Editor, 2004-

Advances in Dynamical Systems and Applications, Research India Publications, Member of Editorial Board since 2006

Advances of Mathematical Economics, Springer-Verlag, Member of Editorial Board, 1998-

Annals of Financial Economics, World Scientific, Member of the Advisory Board, August 2013-

Brazilian Journal of Business Economics, Catholic University of Brasilia, Member of Advisory Board,, February 2012-

Chaos, Solitons and Fractals, Pergamon Press, Member of Editorial Board, 1990-1995

Economic Studies Quarterly, Japan Association of Economics and Econometrics, Co-Editor 1992-1995

Economic Theory, Member of Editorial Board, 1990-2000

International Journal of Dynamical Systems and Differential Equations, Nova Science Publishers, Member of Editorial Board, 2006-

Journal of Difference Equations and Applications, Gordon and Breach Publishers, Member of Editorial Board since 1997

Journal of Macroeconomics, Elsevier, Member of Editorial Board, 2003-

Journal of Informatics and Data Mining, Insight Medical Publishing、Member of Editorial Board, 2015—

Journal of Health & Medical Economics, Insight Medical Publishing、Member of Editorial Board, 2015—

Journal of Integrated Creative Studies, Kyoto University, Member of Editorial Board, 2015—

Journal of Reviews on Global Economics, Lifescience Global, Member of Editorial Board, since 2012

Journal of Risk and Financial Management, Multidisciplinary Digital Publishing Institute, Member of the Advisory Board, since August 2013

Journal of Economic Development, Chung Ang University, Member of Editorial Board since 1997

Japanese Economic Review, Basil Blackwell, Co-Editor 1995-1997, Editor in Chief 1998-2000

Journal of Economic Surveys, Basil Blackwell, Member of Advisory Board, 1990-1995

Journal of Population Economics, Springer-Verlag, Member of Editorial Board, 1995-2001

Mathematical Social Sciences, North-Holland, Member of Editorial Board, 1993-1997

Pacific Economic Review, Wiley-Blackwell, Member of Editorial Board, 2003-

Review of International Economics, Wiley Blackwell, Member of Editorial Board, 1997-

Ricerche Economiche, Academic Press, Member of Editorial Board, 1991-1997

Seoul Journal of Economics, Seoul University, Member of Editorial Board, 1996-

Studies in Nonlinear Dynamics and Econometrics, MIT Press, Member of Editorial Board since 1995

Theoretical Economics Letters, Scientific Research Publishing, Member of the Editorial Board, April 2011-

代表を務めたプロジェクト

21 世紀 COE プログラム『先端経済分析のインターフェイス拠点の形成』:リーダー

文科省の 21 世紀 COE プログラムに認められ、2003 年より、その中の複雑系経済学グループのリーダー、2006 年より全体の拠点リーダーを務める。

州立カリフォルニア大学複雑系研究所(ICAM)京都支所:代表

ICAM はサンタフェ研究所の David Pines 教授によって、カリフォルニア州立大学機構に 2002 年 7 月に創設された複雑系研究所。2005 年 7 月から、京都大学経済研究所は、大学院理学研究所物理学第一教室と共に、ICAM の京都支部として活動する。ICAM 京都支部の代表は、経済研究所西村和雄(教授)と理学研究科八尾誠(教授)が務める。

COE『複雑系としての非線形経済システム:理論と応用』:代表

文部省の卓越した研究拠点形成(センター・オブ・エクセレンス、COE)プロジェクトに認められ、1997年より複雑系経済学の研究を行う。共同研究プロジェクト全体の代表を務める。

21世紀人材育成フォーラム:代表

通産省の委託で、人材育成、教育へのヴィジョンを探る共同研究プロジェクトの代表を務める。

グローバル市場競争時代における教育、人材、育成のあり方研究委員会:座長

地球産業文化研究所の依頼で、21世紀の教育のヴィジョンを探る研究会を定期的に行い、その座長を務める。

著書:

『マクロ経済動学』(共著)岩波書店、2007年9月
『満員御礼!経済学なんでもお悩み相談所』日本経済新聞社、2006年2月
『どうする「理数力」崩壊』(共著)PHP研究所、2004年4月
『まんがDE入門経済数学』日本評論社、2003年9月
『経済学思考が身につく100の法則』ダイヤモンド社、2003年5月
『世界一かんたんな経済学入門』講談社、2002年10月
『大学生の学力を診断する』(共著)岩波新書、2001年
『勉強嫌いに誰がした』(共著)PHP、2000年
『算数軽視が学力を崩壊させる』(共著)講談社、1999年
『複雑系を超えて』筑摩書房、1999年
『Q&A 一分間の経済学』日本経済新聞社、1998年
『現代経済学入門:ミクロ経済学』岩波書店、1996年
『ミクロ経済学入門(第2版)』岩波書店、1995年
『知の方程式』集英社、1995年
『ミクロ経済学』東洋経済新報社、1990年
『入門経済学ゼミナール』実務教育出版、1990年
『三日間の経済学』(対談)JICC出版、1990年
『マンガ DE 入門経済学』日本評論社、1990年
『ミクロ経済学入門』岩波書店、1986年
『経済数学早わかり』日本評論社、1982年
『経済数学入門』(共著)有斐閣、1980年

編著:

Creative Complex Systems, edited by Kazuo Nishimura, Masatoshi Murase and Kazuyoshi Yoshimura (edted), 2021, Springer,

Advances in Discrete Dynamical Systems, *Advanced Studies in Pure Mathematics* 53, edited by Saber Elaydi, Kazuo Nishimura, Mitsuhiro Shishikura and Nobuyuki Tose, Mathematical Society of Japan, 2009年

Equilibrium, Trade, and Growth; selected Papers of Lionel W. McKenzie, edited with Tapan Mitra MIT Press, 2008年

『経済心理学のすすめ』(子安増生・西村和雄編) 有斐閣、2007年12月

『Handbook on Optimal Growth: 1 Discrete Time』(共著)Springer、2006年

『子どもの学力を回復する一算数 自学自習への道』数研出版 2005

『学ぼう！算数』数研出版、2005年5月
『非線形均衡動学—不決定性と複雑性』(福田慎一氏と共同編集)、東京大学出版会、2004年
『もうやめろ！ゆとり教育』日本評論社、2003年7月
『教育改革の経済学』日本経済新聞社、2003年7月
『学力の土台』勁草書房、2003年2月
『算数ができない大学生』東洋経済新報社、2001年
『学力低下と新指導要領』岩波書店、2001年
『「本当の生きる力」を与える教育とは』日本経済新聞社、2001年
『ゆとりを奪った「ゆとり教育」』日本経済新聞社、2001年
『学力低下が国を滅ぼす』日本経済新聞社、2001年
Optimization and Chaos, edited by Mukul Majumdar, Tapan Mitra and Kazuo Nishimura, Springer, 2000年
『複雑系経済学とその周辺』サイエンス社、2000年
『小数ができない大学生』東洋経済新報社、2000年
『分数ができない大学生』東洋経済新報社、1999年
『早わかり経済学入門』東洋経済新報社、1997年
『学問のすすめ:経済学』筑摩書房、1996年
『情報社会の経済理論』(共編)富士通ブックス、1996年
『応用ミクロ経済学』(伊藤元重氏と共同編集)東京大学出版会、1989年

翻訳:

『アメリカの教育改革』(京都大学学術出版会、2004年)
「教育問題を優先するアメリカ」(『算数ができない大学生』東洋経済新報社、2001年)
「少人数クラスと教師の質の向上」アメリカ教育省(『「本当の生きる力」を与える教育とは』日本経済新聞社、2001年)
「21世紀のアメリカの教育のための実施要求」アメリカ教育省(『ゆとりを奪った「ゆとり教育」』日本経済新聞社、2001年)
「危機に立つ国家」アメリカ教育省(『学力低下が国を滅ぼす』日本経済新聞社、2001年)
Walras' Economics by Michio Morishima, Cambridge University Press, 1977 (『ワルラスの経済学』1983年、東洋経済新報社)

単行本と特集号の編集 (英文誌)

General Equilibrium and Trade: A Special Issue in Honor of Ronald Jones, Edited by Fumio Dei, Sugata Marjit, Kazuo Nishimura and Makoto Yano, International Journal of Economic Theory 17, Number 1, Wiley 2021

General Equilibrium and Location: A Special Issue in Honor of Marcus Berliant, Edited by Masahisa Fujita, Kazuo Nishimura, Shin-Kun Peng, Ping Wang and Makoto Yano, International Journal of Economic Theory 16, Number 1, Wiley 2020

Market Frictions in Macroeconomic Dynamics: A Special Issue in Honor of Roger Farmer, Edited by Jess Benhabib, Kazuo Nishimura and Makoto Yano, International Journal of Economic Theory 15, Number 1, Wiley 2019,

Individual Choice and Social Welfare: A Special Issue in Honor of Kotaro Suzumura, Edited by Kaushik Basu, Kazuo Nishimura and Makoto Yano, *International Journal of Economic Theory* 14, Number 1, Wiley 2018,

Sunspots and Non-Linear Dynamic: Essays in honor of Jean-Michel Grandmont,s, Edited by Kazuo Nishimura, Alain Venditti, and Nicholas C. Yannelis, 2016 December, Springer

A Special Issue in Honor of Masahisa Fujita, Edited by Marcus Berliant, Tomoya Mori, Kazuo Nishimura and Makoto Yano, *International Journal of Economic Theory* 13, Number 1, Wiley 2017,

A Special Issue in Economic Theory on Mathematical Economics, Game Theory and Computation-In Celebration of Professor Andy McLennan's 60th Birthday, Edited by Hülya Eraslan, Kazuo Nishimura and Makoto Yano, *International Journal of Economic Theory* 12, Number 1, Wiley 2016,

A Special Issue on Market Quality, Trade and Dynamics in Honor of Makoto Yano, Edited by Ronald Jones, Mukul Majumdar and Kazuo Nishimura, *International Journal of Economic Theory* 11, Number 1, Wiley 2015,

A Special Issue on Trade and Trade Policy in Honor of Wilfred J.Ethier, Edited by Henrick Horn, Kazuo Nishimura and Makoto Yano, *International Journal of Economic Theory* 10, Number 1, Wiley 2014,

A Special Issue on General Equilibrium and Growth in Honor of Cuong Le Van, Edited by Myrna Wooders, Kazuo Nishimura and Makoto Yano, *International Journal of Economic Theory* 9, Number 1, Wiley 2013,

The Legacy of Lionel W. McKenzie: Special Issue 2, Edited by Ronald Jones ,Kazuo Nishimura and Makoto Yano, *International Journal of Economic Theory* 8, Number 2, Wiley, 2012,

The Legacy of Lionel W. McKenzie: Special Issue 1, Edited by Ronald Jones ,Kazuo Nishimura and Makoto Yano, *International Journal of Economic Theory* 8, Number 1, Wiley, 2012,

Special Issue for the 2011 APJAE Symposium on Dynamic System and World Trade,

Edited by Kazuo Nishimura, *Asia-Pacific Journal of Accounting & Economics* 18, Issue 3, 2011, Taylor & Francis

A Special Issue on Game Theory and Related Topics in Honor of James Friedman, Edited by Gary Biglaiser, Kazuo Nishimura, Akira Okada and Makoto Yano, *International Journal of Economic Theory* 7, Number 1, Wiley, 2011,

A Special Issue on Growth, Sustainability and Equilibria in Honor of Tapan Mitra, Edited by Kaushik Basu, Mukul Majumdar and Kazuo Nishimura, *International Journal of Economic Theory* 6, Issue 1, Wiley, 2010,

A Special Issue on Macroeconomic Dynamics in Honor of Jess Benhabib, Edited by Roger Farmer and Kazuo Nishimura, *International Journal of Economic Theory* 5, Issue 1, March Wiley, 2009,

A Special Issue on Social Welfare, Market Equilibrium and Stability in Honor of Professor Takashi Negishi, Edited by Jean-Michel Grandmont, Kazuo Nishimura and Makoto Yano, *International Journal of Economic Theory* 4, Number 2, Blackwell, 2008,

Special Issue on Nonlinear Macroeconomic Dynamics, (with Makoto Yano), *International Journal of Economic Theory*, Blackwell, 2008

Special Issue on Instability and Fluctuations in Intertemporal Equilibrium Model, (with Cuong Le Van, Tapan Mitra and Alain Venditti), *Journal of Mathematical Economics*, Springer, 2006

The Symposium Issue in Honor of Mukul Majumdar, (with Charalambos D. Aliprantis, Tapan Mitra and Roy Radner), *Economic Theory*, Springer, 2006

Special Issue on Intertemporal Equilibria, Aggregation and Sunspots in Honor of Jean Michel Grandmont, (with Makoto Yano), *International Journal of Economic Theory*, Blackwell, 2006

Symposium on Trade and Growth, (with Makoto Yano), *The Japanese Economic Review*, Blackwell, 2006

Special Issue on Discrete-Time Dynamics in Economics, (with Makoto Yano), *Journal of Difference Equations and Applications* 10, No.5, Taylor & Francis, 2004

Symposium on Intertemporal Equilibrium Theory: Indeterminacy, Bifurcations and Stability, (with Tapan Mitra) *Journal of Economic Theory*, Academic Press, 2001

Optimization and Chaos, (edited with Mukul Mujumdar and Tapan Mitra), Springer, 2000

Symposium on Intertemporal Equilibrium Theory and Nonlinear Dynamics, (with Harutaka Takahashi), *The Japanese Economic Review* 50, No.4, Blackwell, 1999

英文学術誌論文

Kazuo Nishimura, Dai Miyamoto and Tadashi Yagi, “Japan’s R&D capabilities have been decimated by reduced class hours for science and math subjects,” *Humanities & Social Sciences Communications*, Springer Nature, 2022, <https://www.nature.com/articles/s41599-022-01234-0>

Kazumichi Iwasa and Kazuo Nishimura, "Indeterminacy in a Model with Production Externality and Inferiority in Consumption," *International Journal of Economic Theory* 18, Issue 4, p. 607-623, 2022, 査読あり

Ken-ichi Akao, Hitoshi Ishii, Takashi Kamihigashi and Kazuo Nishimura, “Existence of an Optimal Path in a Continuous-time Nonconcave Ramsey Model,” in *Pure and Applied Functional Analysis*, 7(6) 1939-1952 2022 年

Takuma Kunieda and Kazuo Nishimura, “Does Financial Development Amplify Sunspot Fluctuations?” in *Pure and Applied Functional Analysis*, Vol.6, No.4, pp.777-796, 2021

Nishimura, K., Miyamoto, D. & Yagi, T. Japan’s R&D capabilities have been decimated by reduced class hours for science and math subjects. *Humanit Soc Sci Commun* 9, Springer (2022). <https://doi.org/10.1057/s41599-022-01234-0>

Youngsub Chun, Kazuo Nishimura and Makoto Yano, “Introduction to the special issue in honor of William, Thomson,” *International Journal of Economic Theory* 18-1. March 2022, Wiley

Yunfang Hu, · Takuma Kunieda, · Kazuo Nishimura and · Ping Wang,” Flying or trapped?”

*Economic Theory*75, pages341–388 (2023), 査読あり

Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi, “Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability—An Empirical Study in Japan,” in *Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy*, Edited by Makoto Yano, Fumihiko Matsuda, Anavaj Sakuntabhai and Shigeru Hirota, 303-321, Springer, December 2, 2021 査読あり

Kazuo Nishimura, Tadashi Yagi and Dai Miyamoto, “Education Policy and Behavioral Change in Science Learning—An empirical analysis based on Japanese data,” in *Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy*, Edited by Makoto Yano, Fumihiko Matsuda, Anavaj Sakuntabhai and Shigeru Hirota, 323-340, Springer, December 2, 2021 査読あり

Kazuo Nishimura, Masatoshi Murase and Kazuyoshi Yoshimura (edited), *Creative Complex Systems*, October 21,2021, Springer, <https://link.springer.com/book/10.1007/978-981-16-4457-3> がスプリングー社から出版されました。

Kazuo Nishimura, ” David Pines and Me,” *Creative Complex Systems*, Edted by KazuoNishimura, Masatoshi Murase and Kazuyoshi Yoshimura, October 21, 2021, Springer, Pages 3-16 査読あり

Takuma Kunieda and Kazuo Nishimura,” Pollution, Human Capital, and Growth Cycles,” *Creative Complex Systems*, Edted by KazuoNishimura, Masatoshi Murase and Kazuyoshi Yoshimura, Springer, October 21, 2021, Springer, Pages 85-99
査読あり

Ichiroh Daitoh and Kazuo Nishimura,” Productive Consumption in a Two-Sector Model of Economic Development,” *Creative Complex Systems*, Edted by Kazuo Nishimura, Masatoshi Murase and Kazuyoshi Yoshimura, October 21, 2021, Springer Pages 101-111
査読あり

Kazuo Nishimura, Takaaki Aoki, Michiyo Inagawa, Yoshikazu Tobinaga and Sunao Iwaki,” Determination of Individual Differences in Mental Imagery Tasks: An

Approach to Visual Thinkers and Verbal Thinkers,” *Recent Developments in Medicine and Medical Research* Vol. 15, Page 29-37, BP International, 23 November 2021

Tomoo Kikuchi, Kazuo Nishimura, John Stachurski and Junnan Zhang, “Coase Meets Bellman: Dynamic Programming for Production Networks”. *Journal of Economic Theory* 196, September 2021, DOI <https://doi.org/10.1016/j.jet.2021.105287>. 査読あり

Stefano Bosi, Teresa Lloyd-Braga and Kazuo Nishimura “Externalities of human capital,” *Mathematical Social Sciences* 112, 145- 158, 2021 査読あり

Kazumichi Iwasa and Kazuo Nishimura,” Time preference and two-country trade “, *International Journal of Economic Theory* 17, no 1, March, 2021 査読あり

Goro Kato and Kazuo Nishimura, “Toward a descent theoretic formulation for organization and emergence – An initial object sheaf α hypothesis and its consequence,” *Journal of Integrated Creative Studies*, June, 2010. 査読あり

Kazuo Nishimura, Tadashi Yagi and Makoto Yano, “Parenting methods in relation to norm awareness, social success, and perspectives of family in adulthood,” *Journal of Computational Social Science*, 2020, DOI 10.1007/s42001-020-00077-6

Kazuo Nishimura, Takaaki Aoki, Michiyo Inagawa, Yoshikazu Tobinaga and Sunao Iwaki, “Mental rotation ability and spontaneous brain activity: A magnetoencephalography study,” *NeuroReport* 31, no13, 999-1005, 2020

Kazuo Nishimura, Tadashi Yagi and Dai Miyamoto, “Education for Enhancing the Abilities of Engineers: A Survey Conducted in Japan and its Analyses” *Journal of Education and Learning* 9, No. 3, 37-46, June 2020.
<http://www.ccsenet.org/journal/index.php/jel/article/view/0/42450>

Christian Ghiglino, Kazuo Nishimura and Alain Venditti “A theory of heterogeneous city growth,” *International Journal of Economic Theory* 16, No.1, 27-37 March 2020

Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi (2019), "Happiness and Self-Determination – An

Empirical Study in Japan", *Review of Behavioral Economics*: Vol. 6: No. 4, pp 385-419
Now publishers, Hanover, MA USA, <http://dx.doi.org/10.1561/105.00000113>,

Takaaki Aoki, Kazuo Nishimura and Makoto Yano, "Two-sided altruism and time inconsistency," *Studies in Nonlinear Dynamics and Econometrics* 23, Issue 4 (Sep 2019)
DOI: <https://doi.org/10.1515/snde-2019-0022> 査読あり

Nishimura, Kazuo and Tadashi, Shigoka, "Hopf bifurcation and the existence and stability of closed orbits in three-sector models of optimal endogenous growth," *Studies in Nonlinear Dynamics and Econometrics* 23, Issue 4 (Sep 2019)
DOI:<https://doi.org/10.1515/snde-2019-0017> 査読あり

Kazuo Nishimura and Makoto Yano, "In Memoriam: Professor Tapan Mitra," *International Journal of Economic Theory* Volume 15, No 3, 2019, p.229,査読なし

Takuma Kunieda and Kazuo Nishimura, "Endogenous Business Cycles in a Perpetual Youth Model with Financial Market Imperfections," *International Journal of Economic Theory* Volume 15, No 3, 2019, 231-248,査読あり

Cheron Arnaud, Kazuo Nishimura, Carine Nourry, Thomas Seegmuller, and Alain Venditti "Growth and Public Debt: What are the relevant Tradeoffs?" *Journal of Money, Credit and Banking* 51, Nos. 2-3 (March-April 2019), 655-682 査読あり

Jess Benhabib, Kazuo Nishimura and Makoto Yano "A Special Issue on Market Frictions in Macroeconomic Dynamics: Introduction," *International Journal of Economic Theory*, 15, no 1, March, 2019, 3-8

Kazumichi Iwasa, Kazuo Nishimura and Makoto Yano, "Trade and Indeterminacy Revisited", *International Journal of Economic Theory*, 15, no 1, March, 2019, 37-52 査読あり

Takuma Kunieda and Kazuo Nishimura, "A Two- Sector Growth Model with Credit Market Imperfections and Production Externalities", *Advances in Mathematical Economics*, 22, 2018, 117-137, Springer

Takuma Kunieda and Kazuo Nishimura "Finance and Economic Growth in a Dynamic Game", *Dynamic Games and Applications*, 8, Issue 3, pp 588-600, 2018, Springer, DOI: 10.1007/s13235-018-0249-7

Takuma Kunieda, Kazuo Nishimura and Akihisa Shibata, “Specializations, financial constraints, and income distribution”, *International Review of Economics and Finance* 56 (2018) 3–14, Elsevier, Amsterdam

Tomoo Kikuchi, Kazuo Nishimura and John Stachurski, “Span of Control, Transaction Costs and the Structure of Production Chains”, *Theoretical Economics*, May. 2018 729–760, 査読の有

Kazuo Nishimura, Junichi Hirata, Tadashi Yagi, Junko Urasaka “Science Subjects Studied and Relation to Income after University Graduation—An Empirical Analysis in Japan”, *Journal of Higher Education Theory and Practice*, 18, no. 1, 2018, p49-63, North American Business Press

Goro Kato and Kazuo Nishimura, An Integrated Brain Function -Sheaf Theoretic Approach to Brain as a Conscious Entity, *Annals of Cognitive Science*, Vol1(2017), no2, 39-43, The Scholarly Pages, 査読の有, 2017, December

<http://scholarlypages.org/Articles/cognitive-science/acs-1-007.php?jid=cognitive-science>

Takaaki Aoki and Kazuo Nishimura, “Global convergence in an overlapping generations model with two-sided altruism”, *Journal of Evolutionary Economics* 27 (2017), 1205–1220, DOI 10.1007/s00191-017-0519-3 査読あり

Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi, “How Parenting Affects Children’s Futures: Empirical Study in Japan,” *Journalism and Mass Communication*, vol. 7, issue 1, 35-45, 2016, 査読あり

Kazuo Nishimura, Alain Venditti, Nicholas C. Yannelis, “Introduction,” in *Sunspots and Non-Linear Dynamics: Essays in honor of Jean-Michel Grandmont*, edited by Nishimura, Venditti and Yannelis, 1-11, 2016 December, Springer, 査読なし（このみ科研への謝辞無し）

Hiromi Murakami, Kazuo Nishimura and Tadashi Shigoka, “Homoclinic Orbit and Stationary Sunspot Equilibrium in a Three-Dimensional Continuous-Time Model with a Predetermined Variable,” in *Sunspots and Non-Linear Dynamics: Essays in honor of Jean-Michel Grandmont*, edited by Nishimura, Venditti and Yannelis, 175-200, 2016 December, Springer, 査読あり、謝辞あり

Frédéric Dufourt. Kazuo Nishimura. Alain Venditti, “Sunspot fluctuations in two-sector models with variable income effects”, in *Sunspots and Non-Linear Dynamics: Essays in honor of Jean-Michel Grandmont*, edited by Nishimura, Venditti and Yannelis, Springer Verlag. 71-96, 2016, December, 査読あり

Kazuo Nishimura and Tadashi Shigoka, “An alternative proof of the theorem of Woodford on the existence of a sunspot equilibrium in a continuous-time model,” in *Essays in Economic Dynamics: Theory, Simulation Analysis, and Methodological Study*, ed. by Matsumoto, Szidarovszky and Asada, Springer, 2016, pp. 23-32

Kazuo Nishimura, Carine Nourry, Thomas Seegmuller and Alain Venditti, “Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents,” *Macroeconomic Dynamics*, 20, no2, pp. 504-524, 2016, Cambridge University Press, doi:10.1017/S1365100514000078

Takuma Kunieda and Kazuo Nishimura “Consumption Externalities and Indeterminacy in a Continuous-Time Two-Sector Growth Model”, *International Journal of Dynamical Systems and Differential Equations*, Vol.6 no.4, pp358-368,2016 査読あり

Toshihiko Aso, Kazuo Nishimura, Takashi kiyonaka, Takaaki Aoki, Michiyo Inagawa, Masao Matsuhashi, Yoshikazu Tobinaga and Hidehiko Fukuyama “Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression” *Brain and Behaviour* 6, 2016, June 16. doi: 10.1002/brb3.503, 査読あり

Kazuo Nishimura, Junichi Hirata, Tadashi Yagi, Junko Urasaka”Basic Morality and Social Success in Japan”, *Journal of Informatics and Data Mining* Vol.1, No.1, 2016, Insight Medical Publishing, Delaware, USA
<http://datamining.imedpub.com/basic-morality-and-social-success-in-japan.pdf>

Kazuo Nishimura, Carine Nourry, Thomas Seegmuller and Alain Venditti, “Public spending as a source of endogenous business cycles in a Ramsey model with many agents,” *Macroeconomic Dynamics*, 20, 2016, 504–524. Cambridge University Press, doi:10.1017/S1365100514000078

Kazuo Nishimura, Takaaki Aoki, Michiyo Inagawa, Yoshikazu Tobinaga, Sunao Iwaki “Individual Differences in Mental Imagery Tasks: A Study of Visual Thinkers and Verbal Thinkers” *Neuroscience Communications* Vol 2 (2016), doi:10.14800/nc.1126, 査読あり open access, <http://www.smartscitech.com/index.php/nc>

Frédéric Dufourt, Kazuo Nishimura and Alain Venditti, “Sunspot fluctuations in two-sector models: new results with additively-separable preferences”,

International Journal of Economic Theory Volume 12, No 1, 2016, 67-83 査読あり

Raouf Boucekkine, Kazuo Nishimura and Alain Venditti, "Introduction to financial frictions and debt constraints", *Journal of Mathematical Economics*, Volume 61, Issue C, pp. 271-275, 2015 査読あり

Kazuo Nishimura, Thomas Seegmuller and Alain Venditti, "Fiscal policy, debt constraint and expectations-driven volatility", *Journal of Mathematical Economics* 61(December). p.305-316.2015、 査読あり

Kazumichi Iwasaa & Kazuo Nishimuraa, Discrete dynamics in a two-country model with a durable good", *Journal of Difference Equations and Applications*, Vol. 21, No. 12, 2015, Taylor & Francis, 1305-1314, DOI:10.1080/10236198.2015.1071805

Frédéric Dufourt. Kazuo Nishimura. Alain Venditti, "Indeterminacy and sunspots in two-sector RBC models with generalized no-income-effect preferences," *Journal of Economic Theory* 157, pp. 1056-1080, 2015

Kazuo Nishimura, Takaaki Aoki, Michiyo Inagawa, Yoshikazu Tobinaga, Sunao Iwaki "Brain Activities of Visual Thinkers and Verbal Thinkers: A MEG Study," *Neuroscience Letters* Volume 594, 6 May 2015, Pages 155–160, DOI: 10.1016/j.neulet.2015.03.043

Frédéric Dufourt. Kazuo Nishimura. Alain Venditti, "Indeterminacy and sunspots in two-sector RBC models with generalized no-income-effect preferences," *Journal of Economic Theory* 157, pp. 1056-1080, 2015

Kazuo Nishimura, Carine Nourry, Thomas Seegmuller and Alain Venditti, "On the (de)stabilizing effect of public debt in a Ramsey model with heterogeneous agents," *International Journal of Economic Theory* Volume 11, No 1, 2015, 7-24

Kazuo Nishimura, Alain Venditti and Makoto Yano, "Destabilization Effect of International Trade in a Perfect Foresight Dynamic General Equilibrium Model", *Economic Theory*, Volume 55, Issue 2, 2014, 357-392, 10.1007/s00199-013-0758-y

Takaaki Aoki and Kazuo Nishimura, "On the Convergence of Optimal Solutions in Infinite Horizon Discrete Time Models", *Journal of Difference Equations and Applications* 20, Issue 5-6, 2014, 875-882, DOI:10.1080/10236198.2013.829054

Kazumichi Iwasaa and Kazuo Nishimura, "Dynamic two-country Heckscher–Ohlin model with externality," DOI: 10.1111/ijet.12027, *International Journal of Economic Theory*, 10, Issue 1, pages 53–74, March 2014, Wiley, DOI: 10.1111/ijet.12027

Kazuo Nishimura, Junichi Hirata, Urasaka Junko and Tadashi Yagi, "Impact of High School Science Studies on Incomes of Japanese University Graduates", *US-China Education Review B*, Vol3,no.9,2013,651-662.

“Junichi Hirata, Kazuo Nishimura, Junko Urasaka and Tadashi Yagi ,”Mathematics & Science Education and Income: An Empirical Study in Japan,” *Journal of Reviews on Global Economics*, Vol.2,1-8,2013

Junichi Hirata, Kazuo Nishimura, Urasaka Junko and Tadashi Yagi, ”Annual Incomes of University Graduates and their Science Studies during High School Periods”, *Recent Advances in Modern Educational Technologies*, edited by Hamido Fujita and Jun Sasaki, pp.42-45, WSEAS Press, April 2013

“Grasping a Concept as an Image or as a Word – A Categorical Formulation of Visual and Verbal Thinking Processes,” (with Goro Kato),*Journal of Scientific Research and Reports* 2,No2,682-691,2013 <http://www.sciencedomain.org/issue.php?iid=250&id=22>

“Destabilizing Balanced-Budget Consumption Taxes in Multi-Sector Economies,” (with Carine Nourry, Thomas Seegmuller and Alain Venditti), *International Journal of Economic Theory*, 9, 2013, pp.113-130

“Ceasing Thoughts and Brain Activity: MEG Data Analysis”, (with Takaaki Aoki, Michiyo Inagawa andYoshikazu Tobinag), in *Functional Brain Mapping and the Endeavor to Understand the Working Brain*, edited by Francesco Signorelli and Domenico Chirchiglia, 267-278, INTEC, New York,2013

“Local Indeterminacy in Continuous-time Models: the Role of Returns to Scale,” (with Jean-Philippe Garnier and Alain Venditti), *Macroeconomic Dynamics* 17,2013,326-335, doi:10.1017/S1365100511000137

Eric Bond, Kazumichi Iwasa and Kazuo Nishimura, Poverty Trap and Inferior Goods in a Dynamic Heckscher-Ohlin Model, *Macroeconomic Dynamics*, September 2013, pp 1227-1251,

“The Dynamic Heckscher-Ohlin Model: A Diagrammatic Analysis,” (with Eric W. Bond and Kazumichi Iwasa), *International Journal of Economic Theory*, Vol.8, no.2, 197-211,2012

“Family Expansion and Capital Accumulation of a Dynasty,” (with Lakshmi K. Raut), *Journal of Microeconomics*, Vol.1, No.1, pp.107-124, January-June, 2012

“Thinking Patterns, Brain Activity and Strategy Choice,” (with Akira Okada, Michiyo Inagawa and Yoshikazu Tobinaga), *Journal of Physics*, Conference Series 344, 02004/1-6 (2012), 2012

“Monotonicity and continuity of the critical capital stock in the Dechert–Nishimura

model,” (with Ken-Ichi Akao, Takashi Kamihigashi), *Journal of Mathematical Economics* 47, pp.677–682, 2011

“A Dynamic Heckscher-Ohlin Model and Inferior Goods,” (with Eric W. Bond and Kazumichi Iwasa), *Asia-Pacific Journal of Accounting & Economics*, Vol.18 (3), 217- 236, December 2011

“Multiple Equilibria in a Dynamic Two Country Model,” (with Kazumichi Iwasa), in *Dimensions of Economic Theory and Policy: Essays for Anajan Mukherji*, ed. by Krishnendu Ghosh Destidar, Hiranya Mukhopadhyay and Uday Bhanu Sinha, Oxford University Press, 68-82, 2011

“The Effects of Home Bias in a Model of Endogenous Growth,” (with Eric W. Bond and Kazumichi Iwasa), *International Journal of Development and Conflict*, Vol.1 (3), 339-354, 2011

“A Dynamic Two country Heckscher- Ohlin model with Non-homothetic Preferences,” (with Eric Bond and Kazumichi Iwasa), *Economic Theory* 48, 171-204, 2011

Sunao Iwaki, Kouichi Sutani, Michiyo Inagawa, Yoshikazu Tobinaga and Kazuo Nishimura, “Individual performance in mental processing is correlated with dynamic change in the gamma-band brain activity,” *Abstracts / Neuroscience Research* 71S, e145, 2011.doi:10.1016/j.neures.2011.07.627

“Ability to Stop Thinking and Strategy Choice in Dilemma Games,” (with Akira Okada and Yoshikazu Tobinaga), *International Journal of Economic Theory*, Vol.7 (1), March, 2011

“Multiple Equilibria in Two-Sector Monetary Economies: An Interplay between Preferences and the Timing for Money,” (with Stefano Bosi and Alain Venditti), *Journal of Mathematical Economics*, Vol. 46(6), pp.997-1014, November 2010

“Perfect Simulation of Stationary Equilibria,” (with John Stachurski), *Journal of Economic Dynamics & Control*, Vol. 34(4), pp.577-584, April 2010

“Expectation-driven fluctuations and welfare loss under free trade in two-country models,” (with Alain Venditti and Makoto Yano), *International Journal of Economic Theory*, Vol. 6(1), pp.97-125, March 2010

“Economics according to Tapan Mitra: An introduction,” (with Kaushik Basu and Mukul

Majumdar), *International Journal of Economic Theory*, Vol. 6(1), pp.1-10, March 2010

“Indeterminacy and Expectation-Driven Fluctuations with Non-Separable Preferences,” (with Alain Venditti), *Mathematical Social Sciences*, Vol. 60, pp.46-56, 2010

“On Geometric Ergodicity of the Commodity Pricing Model,” (with John Stachurski), *International Journal of Economic Theory*, Vol. 5(3), pp.293-300, 2009

“Indeterminacy and Business-Cycle Fluctuations in a Two-Sector Monetary Economy with Externalities,” (with Stefano Bosi and Alain venditti), *Journal of Difference Equations and Applications*, Vol. 15, pp.1085-1096, 2009

“Global Externalities, Endogenous Growth and Sunspot Fluctuations,” (with Harutaka Takahashi and Alain Venditti), *Advances in Discrete Dynamical Systems*, ed. by S.Elaydi, K.Nishimura, M.Shishikura and N.Tose, pp.203-214, 2009, Mathematical Society Japan, Tokyo

“Indeterminacy in Aggregate Models with Small Externalities: An Interplay between Preferences and Technology,” (with Carine Nourry and Alain venditti), *Journal of Nonlinear and Convex Analysis*, Vol. 10, pp.279-298, 2009

“Optimal growth and competitive equilibrium business cycles under decreasing returns in two-country models,” (with Alain Venditti and Makoto Yano), *Review of International Economics*, Vol. 17(2), pp.371-391, Wiley-Blackwell, 2009

“A Homoclinic Bifurcation and Global Indeterminacy of Equilibrium in a Two-Sector Endogenous Growth Model,” (with Paolo Mattana and Tadashi Shigoka), *International Journal of Economic Theory*, Vol. 5(1), pp.25-47, 2009

“Equilibrium Storage with Multiple Commodities,” (with John Stachurski), *Journal of Mathematical Economics*, Vol. 45, pp.80-96, 2009

“Specific Factor Models and Dynamics in International Trade,” (with Yunfang Hu and Koji Shimomura), *Contemporary and Emerging Issues in Trade Theory and Policy* (ed. by Sugata Marjit and Eden Yu), *Frontiers of Economic and Globalization*, Vol.4, pp.191-207, Elsevier, 2008

“Characterization of Equilibrium Paths in a Two-Sector Economy with CES Production Functions and Sector-Specific Externality,” (with Miki Matsuo, Tomoya Sakagami, and Alain Venditti), *International Trade and Economic Dynamics*, ed. by Kamihigashi and Laixun Zhao, pp.421-431, Springer, 2008

“Bifurcation and Sunspots in the Continuous Time Equilibrium Model with Capacity Utilization,” (with Jess Benhabib and Tadashi Shigoka), *International Journal of Economic Theory*, Vol. 4(2), pp.337-355, 2008

“Detection of Neural Activity Associated with Thinking in Frontal Lobe by Magnetoencephalography,” (with Yoshikazu Tobinaga and Mitsuo Tonoike), *Progress of Theoretical Physics*, Supplement Number 173, pp.332-341, 2008

“Time preference and two-country trade,” (with Been-Lon Chen and Koji Shimomura)

International Journal of Economic Theory, Vol. 4, pp.29-52, 2008

"Equilibrium dynamics in discrete-time endogenous growth models with social constant returns," (with Kazuo Mino, Koji Shimomura and Ping Wang), *Economic Theory*, Vol. 34, pp.1-23, 2008

"On Professor Takashi Negishi's contributions to economic theory," (with Jean-Michel Grandmont and Makoto Yano), *International Journal of Economic Theory*, Vol. 4(2), pp.137-149, June 2008

"Special Issue on Social Welfare, Market Equilibrium and Stability: Introduction," (with Jean-Michel Grandmont and Makoto Yano), *International Journal of Economic Theory*, Vol. 4(2), pp.135-136, June 2008

"Special Issue on Nonlinear Macroeconomic Dynamics: Introduction," (with Makoto Yano), *International Journal of Economic Theory*, Vol. 4(1), pp.1-2, March 2008

"Intertemporal Substitution in Consumption, Labor Supply Elasticity and Sunspot Fluctuations in Continuous-time Models," (with Jean-Philippe Garnier and Alain Venditti), *International Journal of Economic Theory*, Vol. 3(4), pp.235-259, 2007

"Instability and fluctuations in intertemporal equilibrium models: introduction to the special issue," (with Cuong Le Van, Tapan Mitra and Alain Venditti), *Journal of Mathematical Economics*, Vol. 43(3-4), pp. 231-235, 2007

"A two-country dynamic model of international trade and endogenous growth: Multiple balanced growth paths and stability," (with Junko Doi and Koji Shimomura), *Journal of Mathematical Economics*, Vol. 43(3-4), pp.390-419, 2007

"Indeterminacy in discrete-time infinite-horizon models with non-linear utility and endogenous labor," (with Alain Venditti), *Journal of Mathematical Economics*, Vol. 43(3-4), pp.446-476, 2007

"School Choice and the Intergenerational Poverty Trap," (with Lakshmi K. Raut), *Review of Development Economics*, Vol. 11(2), pp.412-420, 2007

"Stochastic Optimal Policies when the Discount Rate Vanishes," (with John Stachurski), *Journal of Economic Dynamics and Control*, Vol. 31(4), pp.1416-1430, 2007

"Stochastic Optimal Growth with Nonconvexities," (with Ryszard Rudnicki and John Stachurski), *Journal of Mathematical Economics*, Vol. 42(1), pp.74-96, 2006

"Endogenous Fluctuations in Two-Sector Models: Role of Preferences," (with Harutaka Takahashi and Alain Venditti), *Journal of Optimization Theory and Applications*, Vol. 128, No. 2, pp.309-331, 2006

"Dynamic Three-Factor Models of International Trade," (with Yunfang Hu and Koji Shimomura), *Asia-Pacific Journal of Accounting and Economics*, Vol.13, No.2, pp.73-85, 2006

"Sunspots and Hopf bifurcations in continuous time endogenous growth models," (with Tadashi Shigoka), *International Journal of Economic Theory*, Vol.2, pp.199-216, 2006

- "Endogenous fluctuations in two-country models," (with Alain Venditti and Makoto Yano), *The Japanese Economic Review*, Vol. 57, pp.516-532, 2006
- "Duality with Sector-Specific Externalities Under Social Constant Returns," (with Koji Shimomura and Ping Wang), *The Japanese Economic Review*, Vol.57, pp.467-475, 2006
- "Parents' Educational Background, Subjects "Good-At" in Schools affect Income: an Empirical Study," (with Junichi Hirata, Junko Urasaka and Tadashi Yagi), *The Japanese Economic Review*, Vol.57, pp.533-546, 2006
- "Symposium on Trade and Growth: Introduction", (with Makoto Yano), *Japanese Economic Review*, Vol.57, pp.455-456, 2006
- "Detection of Thinking in Human by Magnetoencephalography," (with Mitsuo Tonoike and Yoshikazu Tobinaga), *World Congress of Medical Physics and Biomedical Engineering 2006*, IFMBE Proceedings Vol. 14, pp.2617-2621, 2006 September
- "Intertemporally Dependent Preferences and Optimal Dynamic Behavior," (with Tapan Mitra), *International Journal of Economic Theory*, Vol.2, pp.77-104, 2006
- "Foreword to the Symposium in Honor of Mukul Majumdar," (with Charalambos D. Aliprantis, Tapan Mitra and Roy Radner), *Economic Theory*, Vol. 29, pp.249-250, 2006
- "Indeterminacy in a Dynamic Two-country Model," (with Koji Shimomura), *Economic Theory*, Vol. 29(2), pp.307-324, October 2006
- "Indeterminacy in Continuous-Time Two-Sector Models: An Exposition," (with Alain Venditti), *Keio Economic Studies* 42 (1-2), pp.73-81, 2005
- "Production Externalities and Local Dynamics in Discrete-time Multi-sector Growth Models with General Production Technologies," (with Koji Shimomura and Ping Wang), *International Journal of Economic Theory*, Vol.1, pp.299-312, 2005
- "Capital Accumulation Games with a Non-Concave Production Function," (with Engelbert J. Dockner), *Journal of Economic Behavior & Organization*, Vol.57, pp.408-420, 2005
- "Stability of Stochastic Optimal Growth Models: a New Approach," (with John Stachurski), *Journal of Economic Theory*, Vol.22, pp.100-118, 2005
- "Intertemporal Complementarity and Optimality: A Study of a Two-Dimensional Dynamical System," (with Tapan Mitra), *International Economic Review*, Vol.46, No.1, pp.93-131, 2005
- "Asymmetric factor substitutability and indeterminacy," (with Alain Venditti), *Journal of Economics*, Vol.83, No.2, pp.125-150, 2004
- "Indeterminacy and the Role of Factor Substitutability," (with Alain Venditti), *Macroeconomic Dynamics*, Vol.8, pp.436-465, 2004
- "Capital Depreciation, Factor Substitutability and Indeterminacy," (with Alain Venditti), *Journal*

of Difference Equations and Applications, Vol.10, No.13-15, pp.1153-1169, 2004

“Working and Training: A Nonlinear Dynamic Analysis of Human Capital Development,” (with Tadashi Yagi and Makoto Yano), *The Japanese Economic Review*, Vol.55, No.2, pp.119-140, 2004

“Discrete Time in Economics: an Introduction,” (with Makoto Yano), *Journal of Difference Equations and Applications*, Vol.10, No. 5, pp. 449-451, 2004

“Strategic Growth,” (with Engelbert Dockner), *Journal of Difference Equations and Applications*, Vol.10, No. 5, pp.515-527, 2004

“Optimal Topological Chaos in dynamic Economies,” (with Tadashi Shigoka and Makoto Yano), *Proceedings of the Sixth International Conference on Difference Equations Augsburg, Germany 2001*, pp.189-198, 2004, CRC press, London

“Discrete Time Models in Economic Theory,” (with John Stachurski), *Cubo a Mathematics Journal* 6, pp.187-207, 2004

“Studying Mathematics and University Education, Labor Income and Career Promotion Empirical Analysis on the “Survey on the Effects of Education at Departments of Economics in Japanese Universities on Career Formation,” (with Junichi Hirata, Junko Urasaka, Tadashi Yagi), *Social System Studies*, The Institute of Social System Ritsumeikan University, No.7, pp.1-24, 2003

“Working on the brain and rationality in economic behavior”, (with Yoshikazu Tobinaga), *The Proceeding of the IJCNN 2003* (The 2003 International Joint Conference on Neural Networks by the International Neural Network Society and the IEEE Neural Networks Society), pp.2604-2608, 2003

“Trade and Indeterminacy in a Dynamic General Equilibrium Model,” (with Koji Shimomura), *Journal of Economic Theory* 105, pp.244-259, 2002

“Indeterminacy and Cycles in Two-Sector Discrete-Time Models,” (with Jess Benhabib and Alain Venditti), *Economic Theory* 20, pp.217-235, 2002

“Intersectoral Externalities and Indeterminacy,” (with Alain Venditti), *Journal of Economic Theory* 105, pp.140-157, 2002

“Indeterminacy in a Dynamic small open economy,” (with Koji Shimomura), *Journal of Economic Dynamics and Control*, Vol. 27(2), pp. 271-281, December 2002

“Characterization of Equilibrium Strategies in a Class of Difference Games,” (with Engelbert Dockner), *Journal of Difference Equations and Applications* 7(6), pp.915-926, 2001

“Capital Depreciation, Indeterminacy and Cycles in Two-Sector Economies,” (with Alain Venditti), *Economic Theory, Dynamics, and Markets*, ed. by T. Negishi, R. V. Ramachandran, and K. Mino, pp.189-197, 2001

“Equilibrium Growth and Nonlinear Dynamics in Continuous Time Models,” *The Japanese Economic Review* 52, pp.1-19, 2001

- "Discounting and Long-Run Behavior: Global Bifurcation Analysis of a Family of Dynamical Systems," (with Tapan Mitra), *Journal of Economic Theory*, Vol. 96(1-2), pp.256-93, 2001
- "Chaotic Equilibrium Dynamics in Endogenous Growth Models," (with Michele Boldrin, Tadashi Shigoka, and Makoto Yano), *Journal of Economic Theory*, Vol.96, pp.97-132, 2001
- "Introduction to Intertemporal Equilibrium Theory: Indeterminacy, Bifurcations, and Stability," (with Tapan Mitra), *Journal of Economic Theory*, Vol.96, pp.1-12, 2001
- "Professor Kazuya Kamiya - 2000 JEA Nakahara Prize: Announcement," *Japanese Economic Review*, Vol. 52(1), pp.20, March 2001
- "On the Chaotic Dynamics Generated by an Endogenous Growth Model," *New Researches in Dynamical Systems*, Institute of Mathematical Analysis, Lecture Note Series 1179, 2000
- "Indeterminacy Under Constant Returns to Scale in Multisector Economies," (with Jess Benhabib and Qinglai Meng), *Econometrica* 68, pp.1541-48, 2000
- "Dynamical Systems Arising from Infinite Time Horizon Optimization Models," (with Alain Venditti), *Journal of Difference Equations and Applications* 6, pp.753-73, 2000
- "Indeterminacy Arising in Multisector Economies," (with Jess Benhabib), *The Japanese Economic Review* 50, pp.485-506, 1999
- "Non-linear Dynamics in the Infinite Time Horizon Model," (with Gerhard Sorger), *Journal of Economic Surveys* 13, pp.619-652, 1999
- "Chaotic Equilibria in a Small Open, Overlapping-Generations Economy with Child-Parent Externality," (with Koji Shimomura), *Review of International Economics* 7, pp.484-492, 1999
- "On the Existence of Chaotic Solutions in Dynamic Linear Programming," (with Makoto Yano), *Mathematics and Computers in Simulation* 48, pp.487-496, 1999
- "Transboundary Pollution in a Dynamic Game Model," (with Engelbert Dockner), *The Japanese Economic Review* 50, pp.443-456, 1999
- "Nonlinear Dynamics in the Cournot Model without Full Information," (with Daniel Léonard), *Annals of Operations Research* 89, pp.165-173, 1999
- "Markov Perfect Equilibria for a Class of Capital Accumulation Games," (with Engelbert Dockner and Manfred Plank), *Annals of Operations Research* 89, pp.215-230, 1999
- "Chaotic Solutions in Infinite-time Horizon Linear Programming and Economic Dynamics," (with Makoto Yano), *Advances in Mathematical Economics* 1, pp.115-126, 1999
- "Symposium on Intertemporal Equilibrium Theory and Nonlinear Dynamics: Introduction," *Japanese Economic Review*, Vol. 50(4), pp.369-370, December 1999
- "1998 JEA-Nakahara Prize: Announcement," *Japanese Economic Review*, Vol. 50(1), pp.25, March 1999

- "Indeterminacy and Sunspots with Constant Returns," (with Jess Benhabib), *Journal of Economic Theory* 81, pp.58-96, 1998
- "Interior Optimal Chaos with Arbitrarily Low Discount Rates," (with Tadashi Shigoka and Makoto Yano), *The Japanese Economic Review* 49, pp.223-233, 1998
- "The Role of Capital Depreciation in Multi-sectoral Models," (with Gary Baierl and Makoto Yano), *Journal of Economic Behavior and Organization* 33, pp.467-479, 1998
- "Endogenous Growth, Trade and Specialization under Variable Returns to Scale: The Case of a Small Open Economy," (with Ngo Van Long and Koji Shimomura), *Dynamics, Economic Growth and International Trade*, ed. by B. Jensen and K. Wong, Michigan University Press, 1997
- "On the Existence of Chaotic Solutions in Dynamic Linear Programming," (with Makoto Yano), *Proceedings on the International Congress on Modeling and Simulation*, ed. by D. McDonald and M. McAleer, Modeling and Simulation Society of Australia, 1997
- "Optimal Cycles and Chaos: A Survey," (with Gerhard Sorger), *Studies in Nonlinear Dynamics and Econometrics* 1, pp.11-28, 1996
- "On the Least Upper Bound of Discount Factors that are Compatible with Optimal Period-Three Cycles," (with Makoto Yano), *Journal of Economic Theory* 69(2), pp.306-333, 1996
- "Chaotic Solutions in Dynamic Linear Programming," (with Makoto Yano), *Chaos, Solitons and Fractals* 7, pp.1191-1953, 1996
- "External Debt Cycles," (with Michihiro Ohyama), *Journal of Structural Change and Economic Dynamics* 6, pp.215-236, 1995
- "Non-linear Dynamics and Chaos in Optimal Growth: An Example," (with Makoto Yano) *Econometrica* 63, pp.981-1001, 1995
- "Non-linearity and Business Cycles in a Two Sector Equilibrium Model: An Example with Cobb-Douglas Production Functions," (with Makoto Yano), *Nonlinear and Convex Analysis in Economic Theory*, ed. by T. Maruyama and W. Takahashi, 231-245, Springer-Verlag, Berlin, 1995
- "Sustainable Plans of Social Security with Endogenous Fertility," (with Junsen Zhang), *Oxford Economic Papers* 47, pp.182-194, 1995
- "Durable Capital and Chaos in Competitive Business Cycles," (with Makoto Yano), *Journal of Economic Behavior and Organizations*, 27, pp.165-181, 1995
- "Social Capital as Public Goods and Oscillatory Behaviour," (with Makoto Yano) *Ricerche Economiche* 48, pp.185-193, 1994
- "Ergodic Chaos in Optimal Growth Models with Low Discount Rates," (with Gerhard Sorger and Makoto Yano), *Economic Theory* 4, pp.705-717, 1994
- "Optimal Chaos, Nonlinearity and Feasibility Conditions," (with Makoto Yano) *Economic Theory*

4, pp.689-704, 1994

“Optimal Chaos When Future Utilities are Discounted Arbitrarily Weakly,” (with Makoto Yano), *Researches in Nonlinear Analysis and Mathematical Economics*, Lecture Note Series, Institute of Mathematical Analysis, Kyoto University, 1993

“The Old-age Security Hypothesis Revisited,” (with Junsen Zhang), *Journal of Development Economics* 41, pp.191-202, 1993

“Interlinkage in the Endogenous Real Business Cycles of International Economies,” (with Makoto Yano), *Economic Theory*, vol. 3, pp.151-168, 1993

“Endogenous Real Business Cycles and International Specialization,” (with Makoto Yano), in *Theory, Policy and Dynamics in International Trade*, ed. by W.Ethier, E.Helpman and P.Neary, Cambridge University Press, 1993

“Endogenous Fertility and Growth,” (with Jess Benhabib) in *General Equilibrium, Growth and Trade II*, ed. by M.Boldrin, R.Becker, R.Jones and W.Thomson, Academic Press, 1993

“Self-generated Fertility Waves,” (with Vijit Kunapongkul), *The Development of Science for the Improvement of Human Life*, ed. by F. Casprini and R. Barbucchi, pp.201-207, Siena University Press, 1993

“Factor Intensity and Hopf Bifurcations,” (with Harutaka Takahashi) *Optimal Control Theory and Economic Analysis* 4, ed. by G.Feichtinger, pp.135-149, North-Holland, 1992

“Business Cycles and Complex Non-Linear Dynamics,” (with Makoto Yano) *Chaos, Solitons and Fractals* vol.2, pp.95-102, 1992

“Pay-As-You-Go Public Pensions with Endogenous Fertility,” (with Junsen Zhang), *Journal of Public Economics* vol.48, pp239-258, 1992

“Economic Growth and Fertility Rate Cycles,” (with Vijit Kunapongkul) *Chaos, Solitons and Fractals* vol.1, pp.475-484, 1991

“Factor Price Equalization” in *Trade, Policy and International Adjustments*, ed. by Takayama, Ohta and Ohyama, pp.275-284, Academic Press, 1990

“Optimal Growth Theory and Dynamical Systems,” in *The Study of Dynamical Systems*, ed. by Nobuo Aoki, World Scientific, pp.225-232, 1989

“Stochastic Equilibrium Oscillations,” (with Jess Benhabib) *International Economic Review*, vol.30, No.1, pp.85-102, 1989

“Endogenous Fluctuations in the Barro-Becker Theory of Fertility,” (with Jess Benhabib) in *Demographic Change and Economic Development*, ed. by Alois Wening and K.Zimmerman, pp.29-41, Springer-Verlag, 1989

“On Endogenous Cycles in Discrete Time Optimal Growth Models,” (with Jess Benhabib) in *Optimal Control and Economic Analysis III*, ed. by G.Feichtinger, North Holland, pp.3-10, 1988

"On the Aggregated Growth Models with Non-Concave Production Function," (with Takahiro Miyao) *Optimal Control and Economics Analysis III*, ed., by G.Feichtinger, North Holland, pp.303-310, 1988

"The Dynamics of Efficient Intertemporal Allocations with Many Agents, Recursive Preferences and Production," (with Jess Benhabib and Saqib Jafray), *Journal of Economic Theory*, vol. 44 pp.301-320, 1988

"Global Equilibrium Dynamics with Stationary Recursive Preferences," (with Jess Benhabib and Mukul Majumdar), *Journal of Economic Behavior and Organizations*, vol.8, pp.429-452, 1987

"Competitive Equilibrium Cycles," (with Jess Benhabib), *Journal of Economic Theory*, vol.35, pp.284-306, 1985

"Cyclical Input Demand and Adjustment Cost Theory of Investment," (with Jess Benhabib) *Non-linear Models of Fluctuating Growth*, ed. by Goodwin, Kruger and Vercelli, Springer-Verlag, 1984

"Impatience and Accumulation," (with Michael Magill), *Journal of Mathematical Analysis and Application*, vol.98, pp.270-281, 1984

"A Path of Optimal Economic Development," (with Jess Benhabib) *Keio Economic Review*, vol.XX, No.1, 1984

"Optimal Development Strategies in a Labor-Surplus economy with Scale Effects," (with Takahiro Miyao), *Environments and Planning A*, Vol.15, pp.1151-1159, 1983

"A Complete Characterization of Optimal Growth Paths in an Aggregated Model with a Non-Concave Production Function," (with Davis Dechert), *Journal of Economic Theory*, vol.31, pp.332-354, 1983

"Stability of Equilibrium in Dynamic Models of Capital Theory," (with Jess Benhabib) *International Economic Review*, vol.22, No.2, pp.275-293, 1981

"The Exclusion of Boundary Equilibria," *International Economics Review*, vol.22, Issue.2, pp.475-475, 1981

"Existence of Nash Equilibrium in n-Person Games without Quasi-Concavity," (with James Friedman), *International Economic Review*, vol.22, No.3, pp.637-648, 1981

"Kuhn's Intensity Hypothesis Revisited," *Review of Economic Studies*, vol.XLIII, pp.351-354, 1981

"On the Shape of the Single-Country and World Commodity-Substitution and Factor-Substitution Surfaces Under Conditions of Joint Production," (with Murray Kemp et.al.), *Journal of International Economics*, vol.10, pp.395-404, 1980

"The Hopf Bifurcation and the Existence and the Stability of Closed Orbits in Multi-Sector Models of Economic Growth," (with Jess Benhabib), *Journal of Economic Theory*, vol.21, pp.421-444, 1979

"On the Uniqueness of Steady States in an Economy with Heterogeneous Capital Goods," (with Jess Benhabib), *International Economic Review*, vol.20, No.1, pp.59-82, 1979

"On the Uniqueness Theorems by Arrow and Hahn," *Journal of Economic Theory*, vol.21, No.2, pp.348-352, 1979

"A Further Remark on the Number of Equilibria of an Economy," *International Economic Review*, vol.19, No.3, pp.679-685, 1978

"On the Existence Proofs of General Equilibria," *The Economic Studies Quarterly*, vol.29, No.3, pp.276-281, 1978

論文集に再録された論文

PRODUCTION SETS, ed. by M. Kemp, Academic Press, 1982

"On the Shape of the Single-Country and World Commodity-Substitution and Factor-Substitution Under Conditions of Joint Production," (with Murray Kemp et.al.), *Journal of International Economics*, vol.10, pp.395-404, 1980

INTERNATIONAL LIBRARY OF CRITICAL WRITINGS IN ECONOMICS 10, GROWTH THEORY, ed. by Robert Becker and Edwin Burmeister, Edgar Elgar, 1991

"Competitive Equilibrium Cycles," (with J. Benhabib), *Journal of Economic Theory*, vol.35, pp.284-306, 1985

"A Complete Characterization of Optimal Growth Paths in an Aggregated Model with a Non-Concave Production Function," (with D. Dechert), *Journal of Economic Theory*, vol.31, pp.332-354, 1983

"Stability of Equilibrium in Dynamic Models of Capital Theory," (with J. Benhabib), *International Economic Review*, vol.22, No.2, pp.275-293, 1981

"The Hopf Bifurcation and the Existence and the Stability of Closed Orbits in Multi-Sector Models of Economic Growth," (with J. Benhabib), *Journal of Economic Theory*, vol.21, pp.421-444, 1979

CYCLES AND CHAOS IN ECONOMIC EQUILIBRIUM, ed. by Jess Benhabib, Princeton University Press, 1992

"The Hopf Bifurcation and the Existence and Stability of Closed Orbits in Multisector Models of Optimal Economic Growth", (with J. Benhabib), *Journal of Economic Theory* 21, pp.41-44, 1979

"Stochastic Equilibrium Oscillation", (with J. Benhabib), *International Economic Review* 30, pp.85-101, 1985

INTERNATIONAL LIBRARY OF CRITICAL WRITINGS IN ECONOMICS 28, NONLINEAR DYNAMICS, ed. by Marc Jarsulic, Edgar Elgar, 1993

"Competitive Equilibrium Cycles," (with J. Benhabib), *Journal of Economic Theory*, vol.35, pp.284-306, 1985

"The Hopf Bifurcation and the Existence and the Stability of Closed Orbits in Multi-Sector Models of Economic Growth," (with J. Benhabib), *Journal of Economic Theory*, vol.21, pp.421-444, December 1979

OPTIMIZATION AND CHAOS, ed. by Mukul Majumdar, Tapan Mitra and Kazuo Nishimura, Springer, 2000

"Nonlinear Dynamics and Optimal Chaos in Growth: A Constructive Exposition", (with M. Yano), revised version of the paper published in *Econometrica* 63, 1995

"Optimal Chaos, Nonlinearity and Feasibility Conditions," (with M. Yano), *Economic Theory* 4, pp. 689-704, 1994

"Ergodic Chaos in Optimal Growth Models with Low Discount Rates," (with G. Sorger and M. Yano), *Economic Theory* 4, 1994

"On the Least Upper Bound of Discount Factors that are Compatible with Optimal Period-Three Cycles," (with M. Yano), *Journal of Economic Theory* 69, 1996

日本での発表論文

西村和雄、八木匡「褒め方、叱り方が子どもの将来に与える影響—日本における実証研究」RIETI Discussion Paper 22-J-037、2022年10月

西村和雄、宮本大、八木匡「日本の理数教育と研究開発力の推移」RIETI Discussion Paper 21-J-039、2021年8月

西村和雄、八木匡「生活と職場での満足感と行動変容能力—日本における実証研究」RIETI Discussion Paper 20-J-004、2020年2月

西村和雄、宮本大、八木匡「学習指導要領の変遷と失われた日本の研究開発力」RIETI Discussion Paper 17-J-015、2017年3月

西村和雄 「経済動学と理数科教育—非線形のゆらぎ」山極壽一・村瀬雅俊・西平直 編 『未来創成学の展望 —逆説・非連続・普遍性に挑む』 275-304、2020年3月31日、ナカニシヤ出版

西村和雄、八木匡「生活と職場での満足感と行動変容能力—日本における実証研究」RIETI Discussion Paper 20-J-004、2020年2月

西村和雄、八木匡「幸福感と自己決定—日本における実証研究」RIETI Discussion

Paper18-J-026、2018年9月

西村和雄、宮本大、八木匡「学習指導要領の変遷と失われた日本の研究開発力」RIETI Discussion Paper17-J-015、2017年3月

西村和雄、八木匡「子育てのあり方と倫理観、幸福感、所得形成。—日本における実証研究—」RIETI Discussion Paper16-J-048、2016年7月

西村和雄、八木匡「子育ての方法と労働市場の評価—日本における実証研究—」RIETI Discussion Paper15-J-018、2015

西村 和雄「最適化と周期解・カオス」『シミュレーション』Vol.33 No.2 , p.60(138)-63(141),日本シミュレーション学会、2014,査読あり

西村 和雄・平田 純一・浦坂 純子・八木 匡「基本的モラルと社会的成功」『クオリティ・エデュケーション』第6巻、1-25、2014年4月、
査読あり

「大学入試制度の多様化に関する比較分析—労働市場における評価」（浦坂純子、西村和雄、平田純一、八木匡共著）、*Journal of Quality Education*、Vol.5、pp.1-11、2013年6月

「これからの人材育成は教育から」『これからどうする』、504-506、岩波書店2013、6月12日

「理数系科目の学習に対する労働市場の評価」『大学論集』44、(浦坂純子、西村和雄、平田純一、八木匡共著)広島大学 高等教育研究開発センター、147-162、2013 3月 有

「パネルデータに基づく理系出身者と文系出身者の年収比較」、(浦坂純子、西村和雄、平田純一、八木匡共著)、*Journal of Quality Education* Vol.4、 pp. 1-9、2012 3月、有

「高等学校における理科学習が就業に及ぼす影響—大卒就業者の所得データが示す証左」（浦坂純子、西村和雄、平田純一、八木匡共著）、2012年、3月、評論・社会科学 No99、pp.1-14

「理系学部出身者と文系学部出身者の年収比較——日本家計パネル調査(JHPS)データ」に基づく分析結果」(浦坂純子、西村和雄、平田純一、八木匡共著)『日本の家計行動のダイナミズ[Ⅶ] 経済危機後の家計行動』瀬古美喜、照山博司、山本勲、樋口美雄編、2011年、6月、慶應義塾大学出版会

「数学教育と人的資本蓄積—日本の実証分析」(浦坂純子、西村和雄、平田純一、八木匡共著)、2010年、8月、*Journal of Quality Education* Vol. 3、pp.1-14

- 「経済学における物理学的方法」、『現代物理学の世界』講談社基礎物理学シリーズ 11(二宮正夫、北原和夫、並木雅俊、杉山忠男編)、講談社、第 13 章、pp.122-135、2010 年
- 「レジーム・シフトのマクロ経済分析 ―クリティカルレベルの特徴づけ―」(赤尾健一共著)、『環境ガバナンス叢書5 自然資本の保全と評価』浅野耕太編、ミネルヴァ書房、第 3 章、pp.51~66、2009 年
- 「企業による学力評価から見た人材確保と教育政策―日本の中小企業調査から見えるもの―」(浦坂純子、西村和雄、平田純一、八木匡共著)、2008 年 3 月『大学論集』第 39 集、広島大学高等教育研究開発センター、pp.145-162
- 「学力向上は『新学力観』の撤廃から」、2008 年 3 月『JHF DANSHIM REPORT 機構団信レポート』pp. 2-5
- 「思考活動停止時における脳活動―経済心理学への基礎研究として」、『経済心理学のすすめ』(子安増生、西村和雄編)、有斐閣、pp. 159-167、2007年12月
- 「今だから話す―ゆとり教育からの転換への道」、2007 年 4 月『月刊 私塾界』No. 312、pp.86-89
- 「企業が求める人材と教育に関する実態調査」(浦坂純子、西村和雄、平田純一、八木匡共著)、2007 年 3 月『大学論集』、広島大学高等教育研究開発センター、pp.239-255
- 「経済学における不動点定理」、2007 年 2 月『数学の楽しみ』、日本評論社、pp.89-99
- 「数学学習と所得」(平田純一、八木匡、浦坂純子共著)、2006 年 12 月、『数学文化』No7、pp.12-20
- 「社会と数学:第9回預金と利子」、2006 年12月、『数学教育』、明治図書
- 「正論:「ゆとり教育」廃止こそ子供を救う」、2006 年 11 月 4 日、産経新聞
- 「経済教室:教育改革 方向誤るな」、2006 年 10 月 26 日、日本経済新聞
- 「社会と数学:第 8 回均衡の存在と不動点」、2006 年11月、『数学教育』、明治図書
- 「社会と数学:第 7 回傾きと平均」、2006 年 10 月、『数学教育』、明治図書
- 「社会と数学:第 6 回金は天下の回りもの」、2006 年9月、『数学教育』、明治図書
- 「正論:ゆとり教育が生み出す階級化社会」、2006 年 8 月 7 日、産経新聞
- 「社会と数学:第 5 回反比例の式と予算制約式」、2006 年 8 月、『数学教育』、明治図書
- 「社会と数学:第 4 回最適化」、2006 年 7 月、『数学教育』、明治図書
- 「経済学と数学」、2006 年 5 月、『数学通信』、日本数学会
- 「多事雑感:年齢差別撤廃という切り札」、2006 年 5 月 20 日、『BAN』6 月号、教育システム

- 「社会と数学:第3回弾力性」、2006年6月、『数学教育』、明治図書
- 「私はこう思う:日本の理数科教育」、2006年5月10日、『教育ニュース』、日本教育研究会
- 「子育て・教育・応援トーク:世界中の子どもたちに算数を学ぶ楽しさを—私たちが『学ぼう!算数』を作ったわけ」、2006年5月1日、『Harmony』Vol.21/May、ECC ジュニア
- 「社会と数学:第2回乗数効果」、2006年5月、『数学教育』、明治図書
- 「対談:四則のできない大学生」、2006年3月第18号、『人環フォーラム』、京都大学大学院人間・環境学
研究科
- 「社会と数学:第1回貯蓄のパラドックス」、2006年4月、『数学教育』、明治図書
- 「『学ぼう!算数』を作った理由」、2006年4月、『VOICE』、PHP 研究所
- 「正論:国を滅ぼしかねぬ理数教育の貧困」、2006年3月20日、産経新聞
- 「自学自習教科書が個に応じた教育を可能にする」、2006年1月25日、『教育ニュース』、日本教育研究
会
- 「企業における人材確保・育成の実態:学力と雇用のミスマッチ」(浦坂純子、平田純一、八木匡と共著)、
2005年12月、『別冊 数学文化:日本数学協会論文集』、pp.1-15、日本数学協会
- 「教科書を変えることで教育が変わる」、2006年1月、『教育と医学 No.631』、慶応義塾大学出版会
- 「正論:ゆとり教育見直しの手綱を緩めるな」、2005年12月27日、産経新聞
- 「正論:専門大学院で教員の質低下は止まず」、2005年9月26日、産経新聞
- 「和算・そろばんを入れた教科書—『学ぼう!算数』」、2005年8月、『数学教育 8月号』、明治図書
- 「座談会:社会の階層化と分裂の政策的インプリケーション」、2005年7月、『経済産業ジャーナル』、財団
法人経済産業調査会
- 「ゆとり教育って何だったの?」、2005年6月、『ゆるゆる Vol.6 深緑号』、編集工房ななほしてんとう舎
- 「正論:ゆとり撤廃では済まぬ学力回復策」、2005年5月25日、産経新聞
- 「日本の公教育に期待するもの」、2005年5月、『かんぽ資金』、簡保資金振興センター
- 「反「ゆとり教育」で文科省と戦った我が20年」、2005年6月、『月刊現代』、講談社
- 「今を語る第29回:ゆとり教育が日本の学力低下を招いた」、2005年5月、『商工ジャーナル』、日本商工
経済研究所
- 「西村教授の紙上特別講義3」、2005年4月18日、朝日新聞

「西村教授の紙上特別講義 2」、2005 年 4 月 11 日、朝日新聞

「西村教授の紙上特別講義 1」、2005 年 4 月 4 日、朝日新聞

「私はこう思う:見直しせまられる総合学習」、2005 年 3 月 25 日、『教育ニュース』、日本教育研究会

「論点:授業時間増が第一歩」、2005 年 3 月 21 日、毎日新聞

「正論:急がれる総合学習と生活科の見直し」、2005 年 3 月 1 日、産経新聞

「ゆとり教育なんて今すぐやめろ」、2005 年 3 月 1 日、『Will』、ワック・マガジズ

「基礎学力を養う教科書与えよ」、2005 年 2 月 26 日、朝日新聞

「危惧される二極化 ゆとり教育中止を」、2005 年 1 月 4 日、『週刊教育 PRO』、日本教育総合研究所

「正論:ここに極まったゆとり教育の弊害」、2004 年 12 月 29 日、産経新聞

「均衡動学と周期性」、2004 年、西村和雄・福田慎一編『非線形均衡動学—不決定性と複雑性』、第 3 章、pp.59-88、東京大学出版会

「教具としてのそろばんの有効性」、2004 年 11 月、『数学教育 11 月号』、明治図書

「対論:人間力の土台について」、2004 年 10 月、『上宮』、上宮学園

「所得格差と教育」、2004 年 10 月、『石垣』、日本商工会議所

「平成 15 年度乳幼児保健講習会講演:少子化社会の教育 平成 16 年 2 月 15 日開催」、2004 年 8 月 15 日、『日本医師会雑誌第』、132 巻・第 4 号、日本医師会

「看護学生の深刻な学力低下を考える:理科系学生の学力低下と望まれる対策」、2004 年 8 月 15 日、『看護教員と実習指導者 Vol.2』、日総研

「私はこう思う:習熟度別学習を可能に」、2004 年 7 月 25 日、『教育ニュース』、日本教育研究会

「ひたすら学力を低下させてきた文部科学省の教育改革」、2004 年 7 月、『DAILY TIMES』、デイリー社

「視点:学力低下のデフレに一定の歯止め」、2004 年 6 月、『学研・進学情報』、学習研究社

「正論:本来の習熟度に応じた「学習」の実現を」、2004 年 6 月 3 日、産経新聞

「看護学生の深刻な学力低下を考える:学力低下はなぜ起きたか」、2004 年 4 月 30 日、『看護教員と実習指導者 Vol.1』、日総研

「学力低下問題とその後」、2004 年、『数学文化』、日本評論社

「世相診断:学力低下と「ゆとり教育」-勉強させない公教育」、2004 年 6 月、『倫風:会報』、社団法人実践倫理宏正会

「じひょう: 自学自習が可能な教科書の実現を」、2004年4月13日、『週刊教育PRO』、日本教育総合研究所

「正論: 奥深い人材送り出す教育が大学の責務」、2004年4月1日、産経新聞

「離散時間の無限期間動学モデルにおける局所的安定性」、2004年、『早稲田政治経済学雑誌』No. 354、11-13

「対談: 学ぶ力は生きる力」、2004年4月、『正司昌子の幼児の知力がぐんぐん伸びる本』（正司昌子）、情報センター出版局

「人的資本蓄積における世代間効果の分析」(浦坂純子、平田純一、八木匡と共著)、2004年3月、『大学論集 第34集』149-160、広島大学高等教育研究開発センター

「じひょう: 高校生の学力調査からみえること」、2004年3月16日、『週刊教育PRO』、日本教育総合研究所

「じひょう: 年齢に応じた学習を」、2004年2月17日、『週刊教育PRO』、日本教育総合研究所

「日本が危ない 学力低下がもたらす産業の危機」、2004年1月、『リスクマネジメント Business』、株式会社ダイヤモンド国際経営研究所

「基調講演: 学力低下と対策」、2003年12月、『月刊私塾界』、全国私塾情報センター

「急げ! 教育の立て直し」、2003年12月、『家庭フォーラム第12号』、昭和堂

「正論: 目を覆う日本の高等教育の質低下」、2003年12月14日、産経新聞

「談話室: 先生が好き嫌いで成績をつけることが正式に始まった」、『銀行倶楽部』2003年11月号、東京銀行協会

「二十一世紀の日本の教育」、『常陽アーク』2003年11月号、常陽地域研究センター

「経済のパラドックス」、『教育科学/数学教育 11月号』2003年11月、明治図書出版

「理解力育てられず・奪われた「考えるゆとり」」2003年10月27日、北海道新聞

「少年非行の原因: 心を蝕む観点別評価」、2003年10月10日、『教育ニュース』、日本教育研究会

「正論: 動き出すか教育政策の正常化・文科省は大臣の指摘真摯に聞け」2003年10月2日、産経新聞

「進化しつつある学際研究」2003年8月、『学際 NO. 9』統計研究会

「教育を語ろう: ゆとり路線を批判・入試客観的評価で」2003年8月6日、愛媛新聞

「「ゆとり教育」を経済学で評価する」2003年7月、『教育改革の経済学』日本経済新聞社

「基礎科目学習の所得形成への影響」(平田純一、八木匡、浦坂純子と共著)2003年7月、『教育改革の経済学』日本経済新聞社

「ゆとり教育は中止を・大学授業料差別化を提案」2003年7月10日、千葉日報

「正論:教科書は検定をやめ無償貸与制に移行を・学力低下と無駄招くだけの現制度」2003年7月9日、産経新聞

「教育を語ろう:ゆとり教育中止を・文科省も課題認識学力低下へ歯止め」2003年7月7日、山陽新聞・2003年6月27日、岐阜新聞・2003年6月25日、埼玉新聞・2003年6月23日、山形新聞

「ゆとり教育 本末転倒・生徒減、教育環境は向上」2003年6月30日、秋田さきがけ

「ゆとり教育批判・学力低下の対策急げ・観点別評価も中止を・入試は客観データで」2003年6月30日、神奈川新聞

「ゆとり教育は中止を・学力低下に対策必要」2003年6月24日、山陰中央新聞・2003年6月21日、河北新報

「正論:国際競争失いつつある日本の高等教育」2003年6月30日、産経新聞

「教科書貸与制への転換を」『教育ニュース』、2003年6月25日号、日本教育研究会

「大学選びのポイントは入試改革と技能取得への取り組み」2003年6月5日、『日経進学ガイド2003』日本経済新聞社

「4桁の足し算も教えない教科書が「おつりを間違える店員」を量産する」2003年6月11日、『SAPIO』

「対談—小中学生の学力低下、文科省政策に原因」『週刊 教育 PRO』、2003年5月27日号

「正論:公務員採用の年齢制限撤廃を」2003年5月8日、産経新聞

「公教育の形骸化懸念」『日本経済新聞』2003年2月1日

「超・入門 経済学ゼミナール」『受験ジャーナル』実務教育出版社、2003年2月号～12月号

「新指導要領で増加する子どもの非行」『Top Journal』2003年2月

「ゆとり教育はなぜ敗北したのか」『教育ニュース』日本教育研究会、2003年1月20日号

「正論:ゆとり教育の足止めが先決」『産経新聞』2002年12月13日

「貴乃花の復活に想う」『ていくおふ』2002年 Autumn

「対談:自分のため、家族のための勉強が少しずつ国を動かそうとしている」『季刊 もん』2002年秋号

「数学学習と大学教育・所得・昇進」『日本経済研究 No.46』(浦坂純子、平田純一、八木匡と共著)2002年11月、日本経済研究センター

「学力低下問題に現場でどう取り組むか」『塾ジャーナル』 2002 年 11 月

「対談:学力低下はつくられた危機なのか」『総合教育技術』 小学館、2002 年 10 月

「正論:ゆとり教育が敗北したのは当然」『産経新聞』 2002 年 10 月 14 日

「今を読み解く」『日本経済新聞』 2002 年 10 月 13 日

「メディア:ゆとり教育はなぜ続いた」『朝日新聞』 2002 年 10 月 12 日

「じひょう:他人は自分ではない」『週刊 教育 PRO』 2002 年 9 月 24 日

「学力低下がこのまま進めば日本は滅びる」『ロゼッタストーン』 2002 年 8 月

「正論:大学改革は数値目標ではできない」『産経新聞』 2002 年 8 月 30 日

「学者が斬る 日本の教育劣化を止めるために」『エコノミスト』 2002 年 8 月 27 日

「勉強で生きる力」『読売新聞』 2002 年 8 月 25 日

「じひょう:誤解されたゆとり」『週刊 教育 PRO』 2002 年 8 月 20 日

「日本の教育制度を糺す」『経済人』 2002 年 7 月

「正論:大学の多様性を推進せよ」『産経新聞』 2002 年 7 月 29 日

「どの学校があなたの子供を真に伸ばすか」『週刊 朝日』 2002 年 7 月 5 日

「大学生「学力低下」が止まらない」『月刊 文芸春秋』 2002 年 6 月

「正論:所得格差抜げる「ゆとり教育」」『産経新聞』 2002 年 6 月 15 日

「ふろんとらいん:官僚も仕事の結果に責任を」『論座』 2002 年 5 月号、朝日新聞社

「経済教室:日本の評価システムを正せ」『日本経済新聞』 2002 年 5 月 20 日

「正論:国民が転換に立ち上がる時」『産経新聞』 2002 年 5 月 17 日

「口丹随想:学校週 5 日制」『京都新聞』 2002 年 5 月 2 日

「ふろんとらいん:マイクロとマクロの両面で子供を守ろう」『論座』 2002 年 4 月号、朝日新聞社

「「学力向上アピールを」こう読んだ」『総合教育技術』 小学館、2002 年 4 月

「正論:目を覆いたくなる学力低下」『産経新聞』 2002 年 4 月 5 日

「出会い」『月刊 健康』 共同通信社、2002 年 3 月

「ふろんらいん:「英語の苦勞」をなくすために」『論座』2002年3月号、朝日新聞社

「基礎学力とは何か」『月刊 国語教育』東京法令出版、2002年3月

「ふろんらいん:「ゆとり教育」は「生きる力」すら奪ったのではないか」『論座』2002年2月号、朝日新聞社

「文科省「学びのすすめ」公表」『日本経済新聞』2002年2月9日

「やる気を促す試験制度を」『IDE』2002年2月、民主教育協会高等教育研究所

「「ゆとり教育」との決別を」2002年2月9日、日本経済新聞

「日本の学力低下」『新・日本学講座 関西発』2002年2月6日、産経新聞東京版

「学力低下と日本の危機」『ひょうご経済 No.73』2002年1月、財団法人ひょうご経済研究所

「ゆとり教育、ここがおかしい」『学際』2002年1月号、統計研究会

「ふろんらいん:年齢差別撤廃は公務員から」『論座』2002年1月号、朝日新聞社

「経済の法則 50」『経』ダイヤモンド社、2002年1月号～12月号

「「二者択一」をしないのは不見識なのだろうか」『論座』2001年12月号、朝日新聞社

「経済の法則 50(4～6)」『経』2001年12月号、ダイヤモンド社

「市場価格の決まり方」『やさしい経済学』2001年11月、日本経済新聞社

「「適材適所」をいかに実現するか」『論座』2001年11月号、朝日新聞社

「学力再生の道を探る」『Nasic Release Vol.7』2001年11月、株式会社学生情報センター

「社会に開かれた公教育を」『Nature interface』2001年11月号、ネイチャー・インターフェイス

「経済の法則 50(1～3)」『経』2001年11月号、ダイヤモンド社

「現場軽視で負け続ける日本の組織」『論座』2001年10月号、朝日新聞社

「数学学習が階層の固定化を防ぐ」『論座』2001年9月号、朝日新聞社

「一語一絵」2001年9月、朝日新聞

「私と外国語」『ハーモニー』2001年9月、ECC ジュニア

「たとえ話に頼った議論で大丈夫か」『論座』2001年8月号、朝日新聞社

- 「国立大学学生の学力」『学士会会報 No.832』2001年8月、学士会
- 「数学教育が人材をつくる」『「本当の生きる力」を与える教育とは』(平田純一、八木匡、浦坂純子と共著) 2001年7月、日本経済新聞社
- 「大学生の数学力—国際比較」『「本当の生きる力」を与える教育とは』2001年7月、日本経済新聞社
- 「構造改革は日本社会に蔓延する嘘の根絶から」『論座』2001年7月号、朝日新聞社
- 「先生の卵は大丈夫か—学力調査」『ゆとりを奪った「ゆとり教育」』2001年6月、日本経済新聞社
- 「新指導要領で内容が薄くなるなら今の教科書を「備蓄」するしかない」『論座』2001年6月号、朝日新聞社
- 「子供には勉強を教えよ」『理科教室』2001年6月号、星の環会
- 「深刻な学力低下と教育改革」『「強い日本」の創り方』2001年4月、PHP研究所
- 「学力調査2000—理工系」『算数ができない大学生』2001年4月、東洋経済新報社
- 「座談会—大学生の学力低下の現状」『算数ができない大学生』2001年4月、東洋経済新報社
- 「大学生の頭がどんどん悪くなる」『論争・学力崩壊』2001年3月、中央公論新社
- 「学力低下」『SAPIO』2001年3月、小学館
- 「大学崩壊—なんのための定員順守か」『学力低下が国を滅ぼす』2001年3月、日本経済新聞社
- 「算数ができない大学院生—学力調査」『学力低下が国を滅ぼす』2001年3月、日本経済新聞社
- 「コミュニケーションしだいで問題行動は解決する」(対談)『学研・進学情報』2001年3月号、学習研究社
- 「ゆとりを奪う「ゆとり教育」」『学研・進学情報』2001年2月号、学習研究社
- 「日本の大学生の数学力」『大学改革』2001年2月、東洋経済新報社
- 「日本の子供の学力が危ない 第3回」『週刊教育PRO』2001年、No. 3、日本教育総合研究所
- 「日本の子供の学力が危ない 第2回」『週刊教育PRO』2001年、No. 2、日本教育総合研究所
- 「日本の子供の学力が危ない 第1回」『週刊教育PRO』2001年、No. 1、日本教育総合研究所
- 「大学はどこに」『朝日新聞』2000年12月9日
- 「経済教室:基礎学力の向上か急務」『日本経済新聞』2000年11月7日
- 「「ゆとり教育」はゆとりを生まない」(対談)『トップジャーナル』2000年11月、教育システム

「学力低下と産業の危機」『無限大』2000年10月号、IBM

「大学生の学力低下と日本の危機」『教育と医学』2000年10月号、慶應義塾大学出版会

「今でなければできないことを」『大学活用法』2000年9月、岩波書店

「君は何故大学院へ行くのか」『エグゼクティブ』2000年8月号、ダイヤモンド社

「切り札としての少人数クラス」『トップジャーナル』2000年8月、教育システム

「新学力という名の欺瞞」『トップジャーナル』2000年7月、教育システム

「数理経済学」『AERA・Mook 数学がわかる』2000年7月、朝日新聞社

「今の理科教育では日本が危ない」『ぷろぼ』2000年7月、進学館

「大学生の頭がどんどん悪くなる」『文藝春秋』2000年6月号、文藝春秋社

「日本の嘘」『トップジャーナル』2000年6月、教育システム

「日本を救う 私の緊急教育5提言」『週刊東洋経済』2000年5月号、東洋経済新報社

「国の基礎が揺らぎはじめた」『論座』2000年5月号、朝日新聞社

「日本の大学生の数学力」『小数ができない大学生』2000年3月、東洋経済新報社

「低落する大学生の数学学力」『科学』2000年3月号

「均衡動学理論」『数理科学』2000年2月、サイエンス社、

「学力低下が若者の非行を増加させる」『トップジャーナル』2000年1月、教育システム

「学力と常識を奪った「ゆとり教育」」『Intelligence』2000年1月、インテリジェンス出版社

「数学にみる学力低下」『Molecular Medicine』2000年、No. 8、中山書店

「日本のトップの大学の文系学生の数学力—学力調査」『大学の物理教育』2000年、No. 1

「教育を考える」全6回『京都新聞』1999年12月16日～2000年2月17日

「受験システムが生んだ学力の低い学生達」『MIRAI』1999年12月、教育総研

「必要とされる学力とは何か」『日本教育』1999年12月、日本教育会

「期待を引出す教育改革こそ急務」『論争東洋経済』1999年11月、東洋経済新報社

「英語力の低下は早期英語教育が歯止め」(対談)『学研・進学情報』1999年11月、学習研究社

- 「文系大学生の学力調査」『教育アンケート調査年鑑(上、下)』1999年11月、創育社
- 「意志決定の科学」『数理科学』1999年10月、サイエンス社
- 「算数軽視が学力崩壊の元凶」『算数軽視が学力を崩壊させる』1999年9月、講談社
- 「子供を算数嫌いにしないために」『算数軽視が学力を崩壊させる』1999年9月、講談社
- 「分数ができない大学生は日本株式会社への赤信号だ」『SAPIO』1999年9月、小学館
- 「大学生の数学力崩壊」『月刊高校教育』1999年9月、学事出版
- 「大学生の数学力調査」『数学セミナー』1999年8月、日本評論社
- 「争点・論点 学力低下」『毎日新聞』1999年8月9日
- 「大学生の学力低下対策を」『日本経済新聞』1999年8月1日
- 「日本人の知」『シグマ・ジャーナル』1999年4月、文英堂
- 「教育危機の経済学」『週刊ダイヤモンド』1999年4月、ダイヤモンド社
- 「人文・社会科学と数学教育」『算数・数学カリキュラムの改革へ』1999年3月、日本数学教育学会編
- 「日本の大学生の数学力一学力調査」『分数ができない日本の大学生』1999年3月、東洋経済新報社
- 「少数科目入試のもたらしたもの」『分数ができない日本の大学生』1999年3月、東洋経済新報社
- 「カオスー起源から未来へ」座談『複雑系を超えて』1999年2月、筑摩書房
- 「複雑系経済学とは何か」『複雑系を超えて』1999年2月、筑摩書房
- 「教育を考えなおすために(下)」『数学のたのしみ』対談 1999年2月、日本評論社
- 「複雑系経済学とその周辺」総論 1999年1月号、『数理科学』サイエンス社
- 「サンタフェ研究所と複雑系経済学」座談 1998年12月、『数理科学』サイエンス社
- 「解の公式が分からない経済学部生」インタビュー 1998年12月、『学研・進学情報』学習研究社
- 「教育を考えなおすために(上)」『数学のたのしみ』対談 1998年12月、日本評論社
- 「マイクロ経済学」『週刊ダイヤモンド』1998年4月25日、ダイヤモンド社
- 「複雑系経済学とは何か」『人間—その内と外』1998年4月、東京情報大学
- 「均衡マクロ経済学と複雑系」『複雑系経済学とは何か』1998年3月、複雑系経済システム研究拠点

- 「脳を知る:思考と行動」『複雑系経済学とは何か』1998年3月、複雑系経済システム研究拠点
- 「非線形経済動学のあゆみ」『複雑系の経済学入門と実践』1997年6月、ダイヤモンド社
- 「複雑系の経済学が始まった」座談『週刊ダイヤモンド』1997年4月15日、ダイヤモンド社
- 「第4章 経済学の基本概念」『早わかり経済学入門』1997年2月、東洋経済新報社
- 「第8章 労働市場と物価」『早わかり経済学入門』1997年2月、東洋経済新報社
- 「情報社会の経済動学入門」『情報社会の経済理論』1996年6月、富士通ブックス
- 「新しい人口理論と内生的出生率」『変わる食料・農業政策-市場の機能と政府の役割』1996年4月、大明堂
- 「経済学はじめの一步」『学問のすすめ:経済学』1996年5月、筑摩書房
- 「経済学のフロンティア」『学問のすすめ:経済学』1996年5月、筑摩書房
- 「経済学:初めての人の学び方」『超入門経済学』1996年3月、日本評論社
- 「経済理論」『イミダス』1996年1月、集英社
- 「最適化問題」『数理情報科学事典』1995年11月、朝倉書店
- 「消費者行動」『ブリタニカ国際大百科事典(第3版)』1995年6月、TBS ブリタニカ
- 「画一的に行われる個性化入試のもたらした荒廃」『週間金曜日』1995年4月
- 「経済数学」『超入門経済学』1995年3月、日本評論社
- 「ワルラス」『経済学の先駆者たち』1995年2月、日本経済新聞
- 「円高が貿易黒字を減らそうという嘘」『京都新聞』1994年9月4日
- 「カオスから何を学べるか」『ペンギン』1994年夏号、28-31頁、SEG出版
- 「ワルラス」『日本経済新聞:やさしい経済学』1994年8月24日~8月31日
- 「経済学における線形代数」『数学教育学会研究紀要』1994年春、45-50頁
- 「経済学の第一の関門」『経済セミナー』1994年4号、日本評論社
- 「正鶴:入試制度について」『週刊ダイヤモンド』1994年4月号、ダイヤモンド社
- 「景気変動における偶然と必然」(矢野誠氏と共著)『数理科学』1994年2月号、サイエンス社

- 「交渉ゲーム」『ペンギン』1993年11、12月号、26-29頁、SEG出版
- 「今月の視点:数字の嘘」『京都新聞』1993年8月1日
- 「情報化と効率化」『経済評論』第42巻4号、1993年4月、182-183頁、日本評論社
- 「経済成長とカオス」(矢野誠氏と共著)『経済セミナー』、1993年4月-1994年3月、12回、日本評論社
- 「学生の素養は師事した教授の質でわかる」『週刊ダイヤモンド』1993年4月17日、117頁、ダイヤモンド社
- 「経済数学の教育上の問題点」『数学教育学会研究紀要』、1993年春、34-37頁、数学教育学会
- 「学生による授業評価がもたらすもの」『明大専教連会報』第59号、1993年3月26日
- 「文系からみた数学」『数学のなかま』第36号、1993年1月、15-25頁、都内数学科学生連合
- 「マインド・トリップ」『受験ジャーナル』1992年9月-1993年8月、12回、実務教育出版
- 「カオスの経済学」『日本経済新聞』、1992年11月18日
- 「内生的出生率と動学モデル」『季刊社会保障研究』第28巻、第3号、246-251頁、1992年冬、社会保障研究所
- 「経済の非線型動学」『数理科学の展望』別冊・数理科学;1992年10月、128-133頁、サイエンス社
- 「経済学の可能性」『日本経済新聞』、1992年8月2日
- 「数学は本当に必要ないのか」『数学セミナー』1992年7月、78-79頁、日本評論社
- 「最適成長モデルとカオス」『非線形解析学と数理経済学の研究』数理解析研究所講究録789、1992年6月、155-163頁、数理解析研究所
- 「入試個性化は何をもたらすか」『諸君』1992年6月、204-211頁、文芸春秋
- 「経済学と不動点」『情報処理』第33巻、第4号、1992年4月、342-349頁、情報処理学会
- 「均衡理論」「市場調整過程」『経済学辞典第3版』1992年1月、岩波書店
- 「経済成長と内生的景気循環」『ESP』1991年5月、12-16頁、経済企画庁
- 「孤独な経済学者」『日本経済研究センター会報』626号、巻頭言、1991年2月15日
- 「公共経済学とは？」『京都新聞』、1991年2月24日
- 「一般均衡理論」『数学セミナー』、日本評論社、1991年2月
- 「経済学はどこへ:効率性を正確に認識を」『日本経済新聞』、1990年8月16日

- 「経済理論における人口」『日本経済新聞』、6回、1989年8月
- 「主体均衡」『キーワードコレクション経済学』1989年9月、131-168頁、新曜社
- 「景気変動:均衡景気循環理論」(増山幸一・吉田真理子氏と共著)『応用ミクロ経済学』伊藤、西村編
東京大学出版会、1989年
- 「最適成長理論と力学系」『力学系の研究』数理解析研究所講究録 696、234-245頁、1989年6月
- 「内生的景気循環の理論」『景気とサイクル』第5号、35-46頁、1988年4月、景気循環学会
- 「経済学」『受験ジャーナル』1987年11月-1989年8月、22回、実務教育出版
- 「景気循環の理論」日本経済新聞、1988年2月22・23・24・25・26日
- 「新しい人口理論」(金谷貞夫氏と共著)『Economics Today』1987年 No. 7、小学館
- 「新しい景気循環の理論」(増山幸一・吉田真理子氏と共著)『経済セミナー』1987年2・3・4月、日本評論社
- 「経済と線型性」『数学セミナー』1987年10月、日本評論社
- 「内生的ビジネスサイクル」『経済セミナー』1986年6月、日本評論社
- 「資本ストックの臨界水準」『経済セミナー』1986年6月、日本評論社
- 「主観的社会科学のすすめ」『経済セミナー』1986年4月、日本評論社
- 「シンポジウム:数理経済学の有効性(司会)」『現代における数学と経済学の試み』111-140頁、日本交通政策研究会、1985年10月
- 「ノーベル賞経済学者ジェラルド・デブルー」『数学セミナー』1984年4月、日本評論社
- 「不動点定理と一般均衡理論:最近の発展」『位相幾何学と経済学』数理解析研究所講究録 478、
160-166頁、1983年2月
- 「ミクロ経済学入門」『経済セミナー』1983年4月-1984年3月、12回、日本評論社
- 「石油価格変動経路の理論的分析」『国際石油市場の経済分析』77-98頁、1982年3月、産業研究所
- 「一般均衡理論のフロンティア」『経済セミナー』1982年3月、日本評論社
- 「経済学における固有値問題」『数学セミナー』1981年12月、日本評論社
- 「不動点定理」『経済セミナー』1981年5月、日本評論社
- 「双対定理」『経済セミナー』1981年5月、日本評論社

「微分トポロジーと経済学」『位相幾何学と経済学』京都大学数理解析研究所講究録 407、50-63 頁、1980 年 12 月

「On the Mistakes and Corrections of Proofs of Uniqueness Theorems by Arrow and Hahn」『経済と経済学』第 44 号、1980 年、pp.39-46

「数理経済学入門」『経済セミナー』1980 年 12 月－1981 年 4 月、4 回、日本評論社

「経済数学早わかり」『経済セミナー』1979 年 10 月－1980 年 3 月、6 回、日本評論社

「現代経済学への誘い」『経済セミナー』1979 年 4 月、日本評論社

「The Shape of the Social Production Function Arising from the Joint Production Function」『経済と経済学』第 43 号、1979 年、pp.117-125

「消費者需要理論」『経済と経済学』第 43 号、1979 年、pp.66-116

「経済学とカタストロフィ」『経済と経済学』第 41 号、1979 年、pp.61-32

書評

「心へのこる 1 冊:カオスはこうして発見された」(ラルフ・エイブラハム、ヨシスケ・ウエダ編 (稲垣耕作、赤松則男訳))、2005 年 8 月、『科学』、岩波書店

「カオスはこうして発見された」(ラルフ・エイブラハム、ヨシスケ・ウエダ編 (稲垣耕作、赤松則男訳))、2005 年 2 月 18 日、『数学通信』、第 9 巻第 4 号、日本数学会

①「人口減少経済」の新しい公式―「縮む世界」の発想とシステム」(松谷明彦著、日本経済新聞社)、
②「デフレはなぜ怖いのか」(原田泰著、文芸春秋)、③「経済学史 24 の謎」(根岸隆著、有斐閣)、(「エコノミスト 22 人が選んだ 2004 年の経済書」)『週刊エコノミスト』2004 年 12 月 28 日・2005 年 1 月 4 日迎春合併号

「子供の行動は大人社会を反映している」、2004 年 10 月、『Diamond Harvard Business Review October 2004』、ダイヤモンド社

「むかし<都立高校>があった」(奥 武則著、平凡社)、(「Book Review 本 話題の本」)『週刊エコノミスト』2004 年 4 月 27 日

「エコノミスト 南の貧困と闘う」(ウィリアム・イースタリー著、東洋経済新報社)、(「エコノミストが選ぶ 03 年経済書:正しいインセンティブが途上国の経済運営を変える」)『週刊エコノミスト』2003 年 12 月 16 日

「数学で身につける柔らかな思考力」(ロブ・イースタウエイ/ジェレミー・ウィンダム著、水谷淳訳、ダイヤモンド社)『週刊エコノミスト』2003 年 7 月 22 日

「進化と経済学」(ジェフリー・M・ホジソン著・日本経済新聞社)2003 年 5 月 25 日

- 「経済学」の正しい使用法(ロバート・バロー著・日本経済新聞社)『ていく おふ』1997年11月
- 「複雑なあまりに複雑な」(逢沢明著・現代書館)『ていくおふ』1997年6月
- 「複雑系」(ミッチェル・ワールドロップ著・新潮社)『ていくおふ』1996年11月
- 「経済財戦国日本—デフレ脱却への新行革論」(宮尾尊弘著・東洋経済新報社)『ていくおふ』1996年5月
- 「理論の創造と創造の理論」(唐木田健一著・朝倉書店)『エコノミスト』1995年8月
- 「ランチタイムの経済学」(ランズバーグ著・ダイヤモンド社)『北海道新聞』1995年5月
- 「入門マイクロ経済学」(ヴァリアン著・勁草書房)『経済セミナー』1993年2月
- 「数理経済学の基礎」(山崎昭著・創文社)『季刊理論経済学』1987年6月
- 「凸解析」(渡部隆一著・培風館)『経済セミナー』1986年12月
- 「マイクロ経済分析」(ヴァリアン著・勁草書房)『エコノミスト』1986年7月